



2021年度 第1四半期（4-6月） 決算説明会【電話会議】

コマツ出席者

取締役常務執行役員CFO 堀越 健
常務執行役員経営管理部長 森下 正敏

2021年7月30日（金）

目次

I.2021年度 第1四半期（4-6月）決算の概要 <P3-P10>

- P4-P5 : 2021年度 第1四半期（4-6月）の概況
- P6-P7 : <建設機械・車両> 2021年度 第1四半期（4-6月）の状況（概況・セグメント売上高・利益）
- P8 : <リテールファイナンス> 2021年度 第1四半期（4-6月）の状況
- P9 : <産業機械他> 2021年度 第1四半期（4-6月）の売上高とセグメント利益
- P10 : 連結貸借対照表

II.2021年度の業績見通し <P11-P21>

- P12 : 2021年度の見通し（概要）
- P13-P18 : <建設機械・車両> 主要7建機需要推移と見通し（全体および地域別）
- P19-P20 : <建設機械・車両> 鉱山機械の需要推移と売上高の見通し
- P21 : <建設機械・車両> 部品の売上高の見通し

参考資料 <P22-P31>

- P23 : Komtrax日次平均稼働時間推移
- P24-P28 : 四半期毎の状況
- P29-P31 : BBレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕

I .2021年度 第1四半期（4-6月）決算の概要

2021年度 第1四半期（4-6月）の概況

- ・ 連結売上高は前年同期比+41.3%増収の6,482億円。
- ・ 営業利益は前年同期比+129.4%増益の617億円、売上高営業利益率は+3.6ポイント上昇の9.5%。
- ・ 純利益は前年同期比+151.6%増益の408億円。

金額単位：億円	2020年4-6月 ¥107.5/USD ¥118.6/EUR ¥15.1/RMB	2021年4-6月 ¥109.9/USD ¥131.7/EUR ¥17.0/RMB	前年同期比	
			増減	増減率
連結売上高	4,587	6,482	+1,895	+41.3%
セグメント利益	266	609	+342	+128.7%
その他の営業収益（▲費用）	2	8	+5	-
営業利益	269	617	+348	+129.4%
売上高営業利益率	5.9%	9.5%	+3.6ポイント	-
その他の収益（▲費用）	15	▲ 2	▲ 18	-
税引前純利益	284	614	+329	+115.7%
当社株主に帰属する当期純利益	162	408	+246	+151.6%

2021年度 第1四半期（4-6月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比+39.6%増収の5,943億円。セグメント利益は前年同期比+131.3%増益の536億円。セグメント利益率は+3.6ポイント上昇の9.0%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比+28.5%増収の204億円。セグメント利益は前年同期比+69.7%増益の32億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比+63.2%増収の408億円。セグメント利益は前年同期比+146.2%増益の42億円。

□ : 利益率 (): 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2020年4-6月		2021年4-6月		前年同期比			
					増減		増減率	
売上高	4,587		6,482		+1,895		+41.3%	
建設機械・車両	(4,200)	4,258	(5,930)	5,943	(+1,730)	+1,685	(+41.2%)	+39.6%
リテールファイナンス	(139)	159	(147)	204	(+8)	+45	(+5.8%)	+28.5%
産業機械他	(247)	250	(405)	408	(+157)	+158	(+63.5%)	+63.2%
消去	▲ 80		▲ 73		+6		-	
セグメント利益	□ 5.8%	266	□ 9.4%	609	□ +3.6ポイント	+342	+128.7%	
建設機械・車両	□ 5.4%	232	□ 9.0%	536	□ +3.6ポイント	+304	+131.3%	
リテールファイナンス	□ 11.9%	18	□ 15.7%	32	□ +3.8ポイント	+13	+69.7%	
産業機械他	□ 6.8%	17	□ 10.3%	42	□ +3.5ポイント	+24	+146.2%	
消去または全社	▲ 1		▲ 1		+0		-	

各セグメントの状況：

■ 建設機械・車両

物量増および、為替差のプラス影響等により増収、物量増等により増益。

■ リテールファイナンス

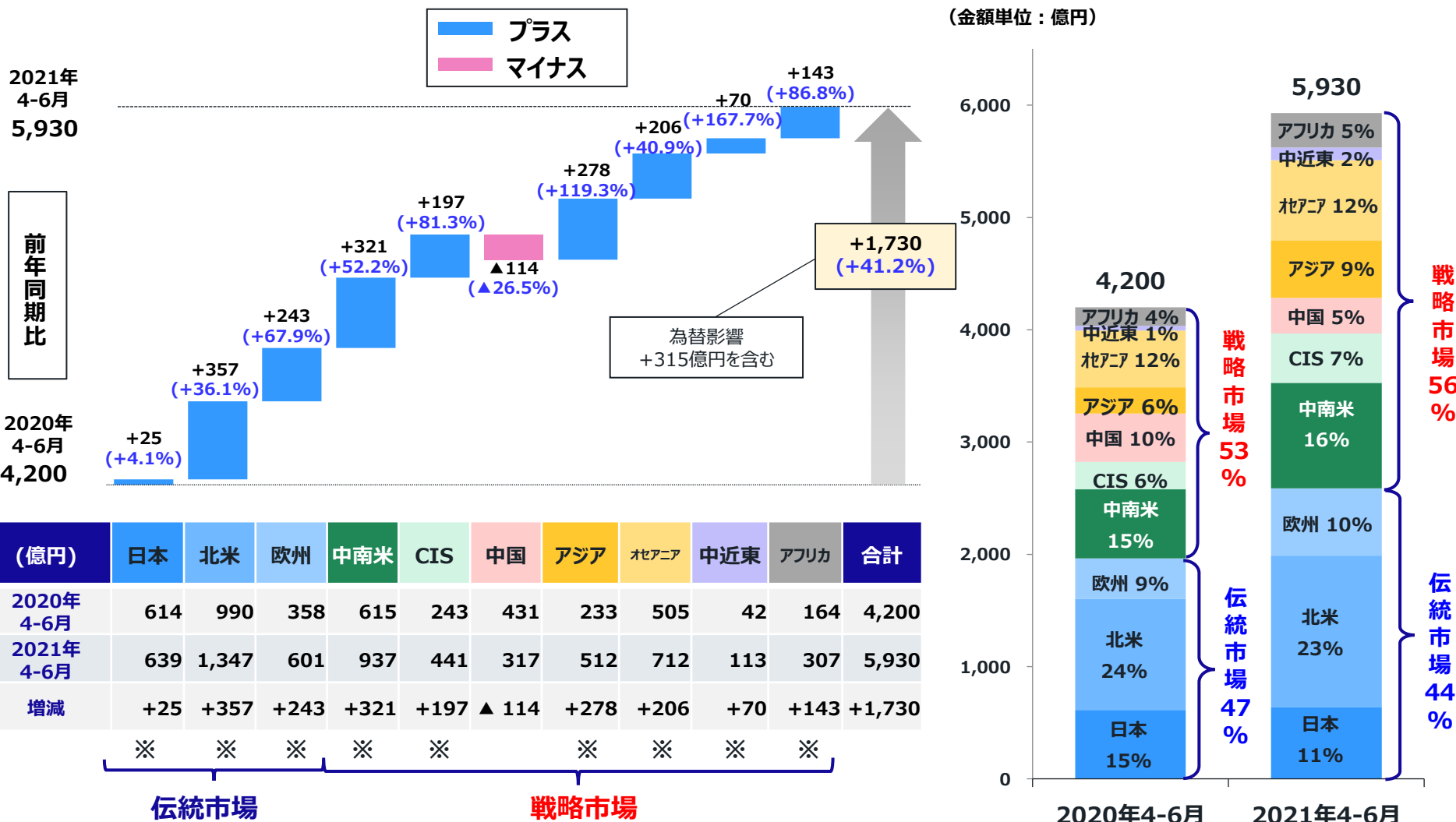
建設機械・車両の販売増に伴う新規取組高の増加により増収、前年同期の新型コロナウイルス感染拡大時に実施した支払猶予によるマイナス影響が無くなったこと等により増益。

■ 産業機械他

自動車産業向けの鍛圧機械、工作機械は、設備投資の復調により、需要が回復基調にあることに加え、海外顧客向けの据付け工事の完了等により増収、増益。半導体産業向けは、エキシマレーザー関連の売上が好調であったこと等により増収、増益。

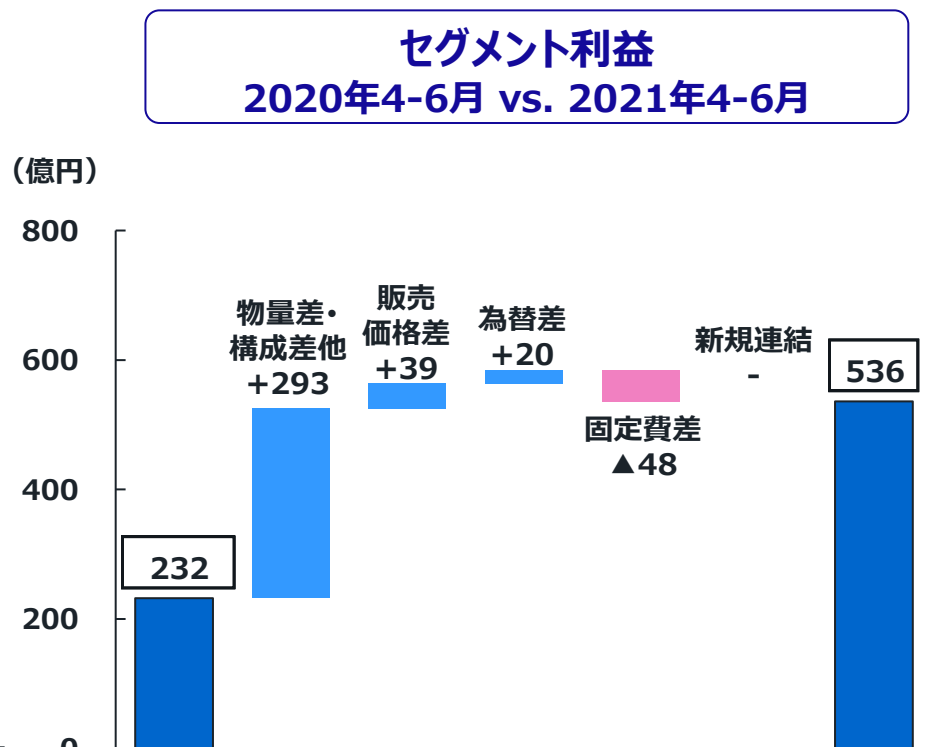
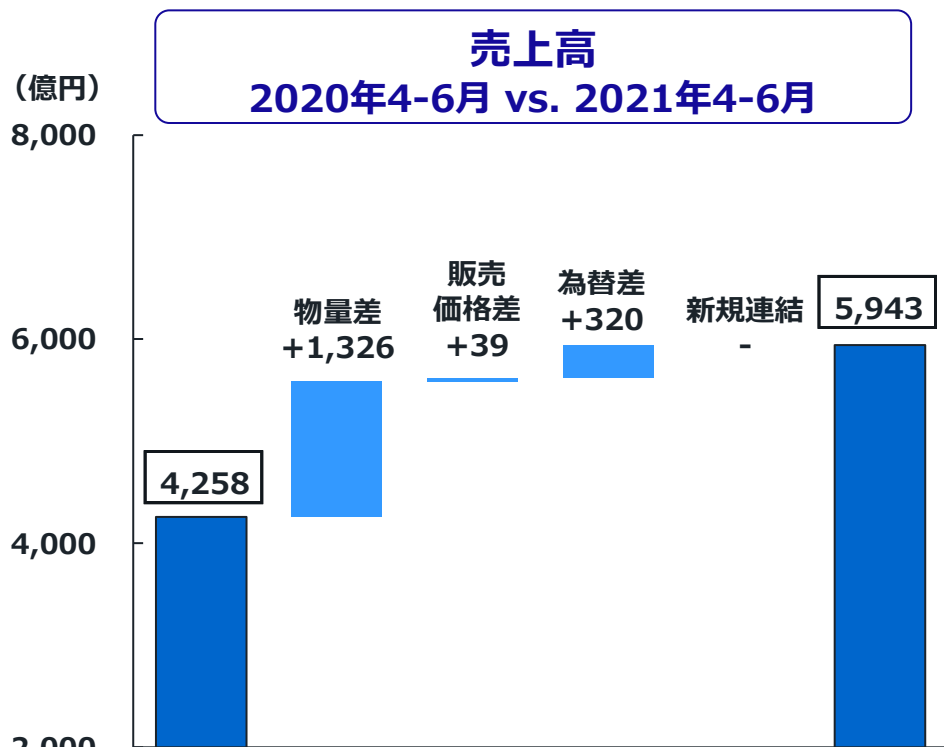
<建設機械・車両> 2021年度 第1四半期（4-6月）の地域別売上高（外部顧客向け）

- ・外部顧客向け売上高は前年同期比+41.2%増収の5,930億円。
- ・中国を除くすべての地域で増加。
- ・戦略市場の比率は56%に上昇。



<建設機械・車両> 2021年度 第1四半期（4-6月）の売上高とセグメント利益の増減要因

- ・売上高は、物量増および為替差のプラス影響等により、前年同期比+1,685億円の増収。
- ・セグメント利益は、物量増等により、前年同期比+304億円の増益。
- ・売上高セグメント利益率は前年同期比+3.6ポイント上昇し9.0%。



+1,685億円

+304億円

¥107.5/USD
¥118.6/EUR
¥15.1/RMB

¥109.9/USD
¥131.7/EUR
¥17.0/RMB

プラス要因
マイナス要因

プラス要因
マイナス要因

5.4%

売上高セグメント利益率

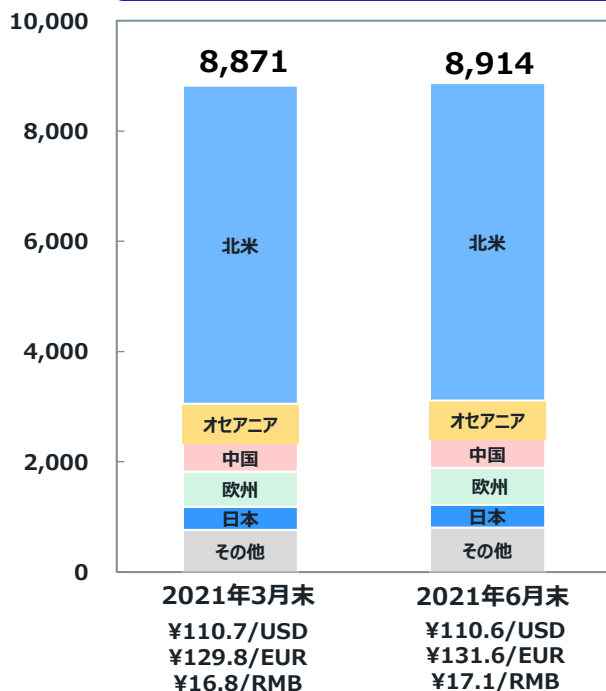
9.0%

<リテールファイナンス> 2021年度 第1四半期（4-6月）の状況

- ・資産は、前年度末並み。
- ・新規取組高は、建設機械・車両の販売増により、前年同期比+498億円の増加。
- ・売上高は、新規取組高の増加により、前年同期比+45億円の増収。
- ・セグメント利益は、前年同期の新型コロナウイルス感染拡大時に実施した支払猶予によるマイナス影響が無くなったこと等により、前年同期比+13億円の増益。

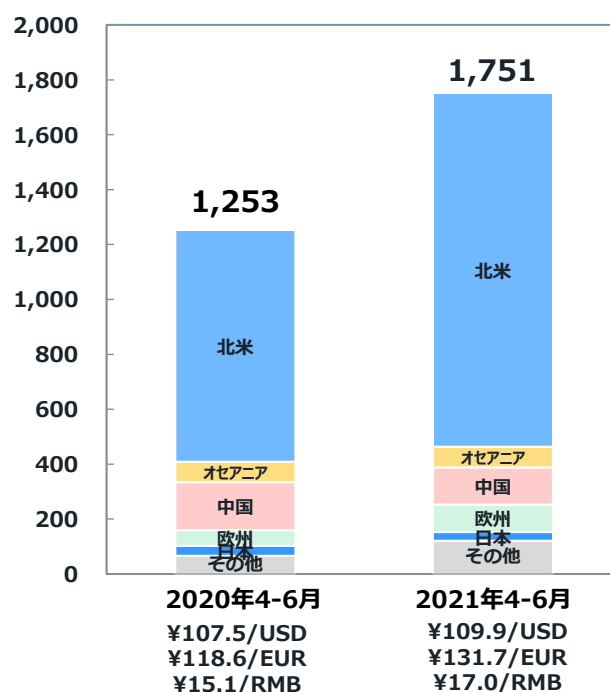
資産

2021年3月末 vs. 2021年6月末



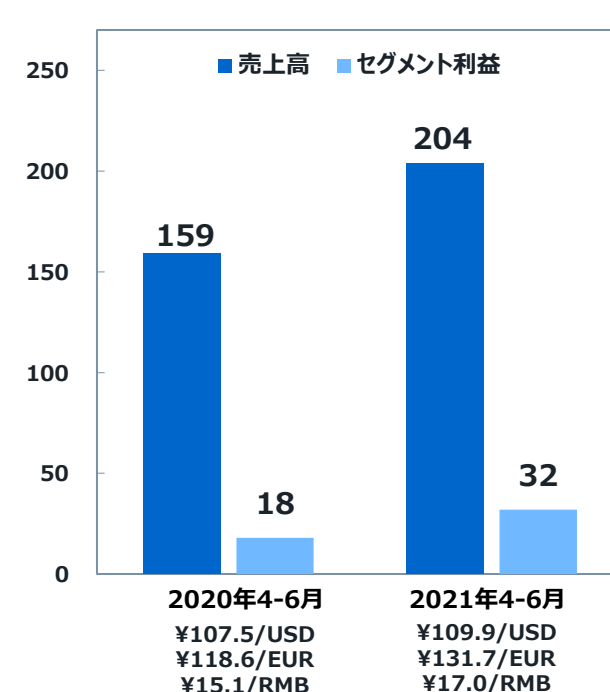
新規取組高

2020年4-6月 vs. 2021年4-6月



収益

2020年4-6月 vs. 2021年4-6月

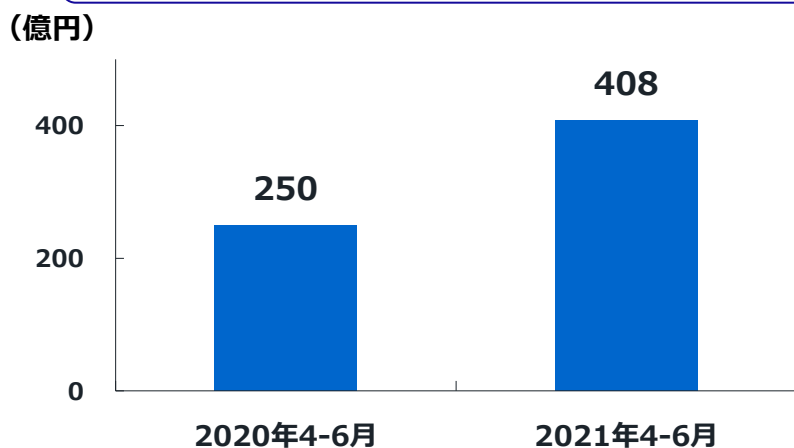


金額単位：億円	2021年3月末	2021年6月末	前年度末比
借入金	6,747	6,835	+88
ネットベースの借入金	6,723	6,795	+72
ネットD/Eレシオ	3.69	3.68	▲0.01ポイント

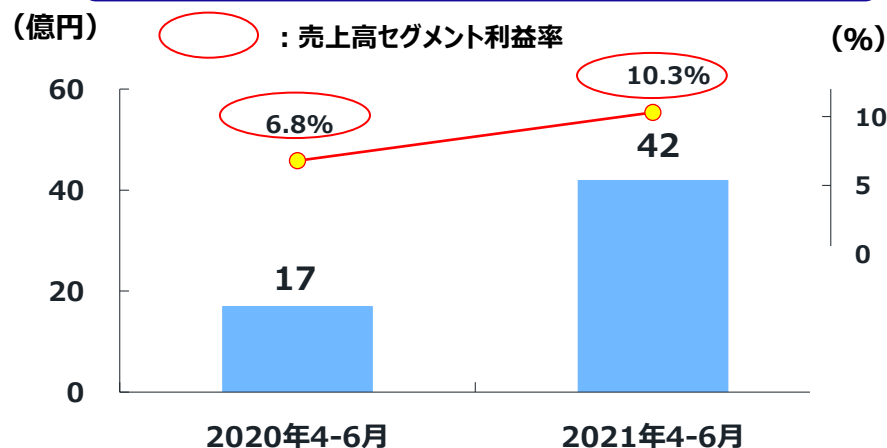
<産業機械他> 2021年度 第1四半期（4-6月）の売上高とセグメント利益

- ・売上高は前年同期比+63.2%増収の408億円、セグメント利益は前年同期比+146.2%増益の42億円。
- ・自動車産業向けの鍛圧機械、工作機械は、設備投資の復調により、需要が回復基調にあることに加え、海外顧客向けの据付け工事の完了等により増収、増益。半導体産業向けは、エキシマレーザー関連の売上が好調であったこと等により増収、増益。
- ・売上高セグメント利益率は10.3%。

売上高
2020年4-6月 vs. 2021年4-6月



セグメント利益
2020年4-6月 vs. 2021年4-6月



売上高の内訳

(億円)	2020年4-6月	2021年4-6月	前年同期比	
			増減	増減率
コマツ産機	61	126	+64	+105.6%
コマツNTC	40	68	+27	+68.6%
ギガフォトン	96	127	+31	+32.3%
その他	52	86	+34	+66.2%
合計	250	408	+158	+63.2%

連結貸借対照表

- ・総資産は前年度末比+55億円増加の3兆7,903億円。建設機械・車両の需要増加に伴い棚卸資産が増加。
- ・株主資本比率は前年度末比+0.5ポイント上昇の51.0%。

金額単位：億円 ○：ネットD/Eレシオ	2021年3月末 ¥110.7/USD ¥129.8/EUR ¥16.8/RMB	2021年6月末 ¥110.6/USD ¥131.6/EUR ¥17.1/RMB	増減
現金・預金（含む定期預金） [a]	2,431	2,357	▲ 73
受取手形・売掛金（含む長期売上債権）	12,675	12,611	▲ 64
棚卸資産	7,938	8,190	+252
有形固定資産	7,873	7,756	▲ 117
その他資産	6,929	6,987	+58
資産合計	37,848	37,903	+55
支払手形・買掛金	2,583	2,597	+13
借入金・社債 [b]	9,099	9,053	▲ 46
その他負債	6,045	5,942	▲ 102
負債合計	17,728	17,592	▲ 135
（株主資本比率）	（50.5%）	（51.0%）	（+0.5%）
株主資本	19,122	19,318	+195
非支配持分	997	992	▲ 4
負債及び純資産合計	37,848	37,903	+55
ネットベースの借入金・社債 [b-a]	○ 0.35 6,668	○ 0.35 6,695	+26
ネットD/Eレシオ（リテールファイナンス会社を除いた場合）	○ ▲0.00	○ ▲0.01	

Ⅱ.2021年度の業績見通し

2021年度の業績見通し（概要）

- 2021年度の業績見通しは、前回の見通し（4月）から変更なし。

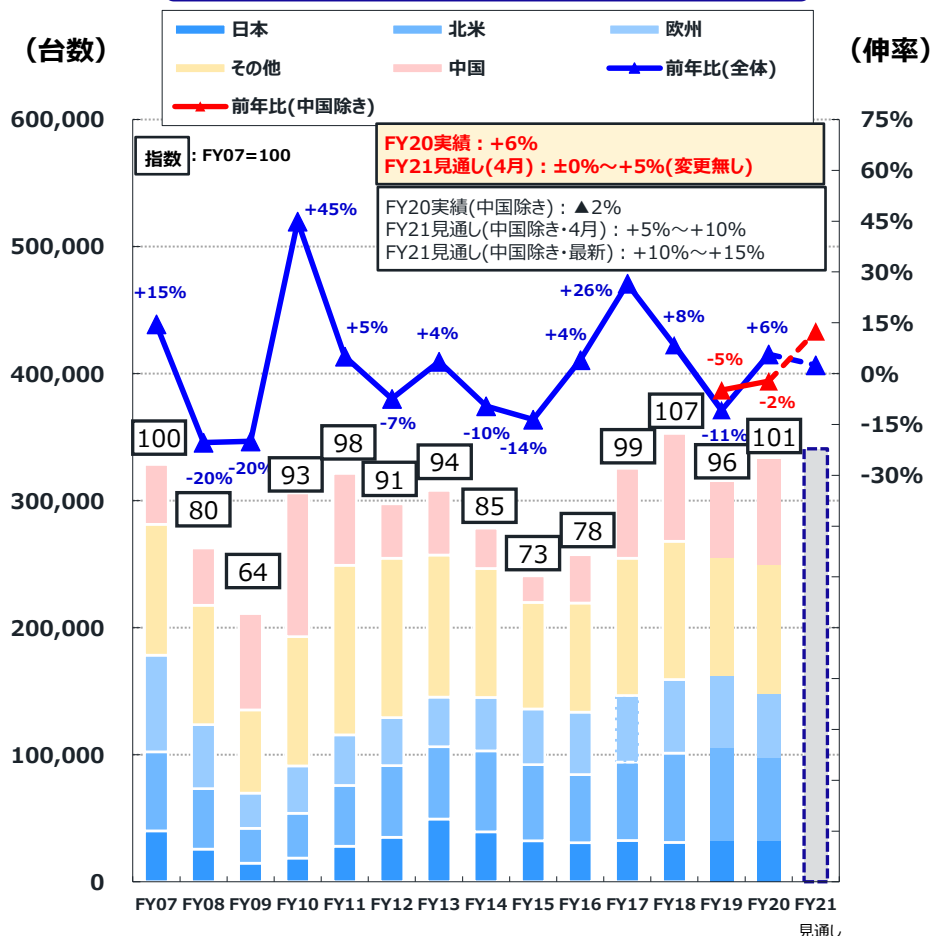
金額単位：億円	2020年度 ¥106.0/USD ¥123.4/EUR ¥15.6/RMB	2021年度 (見通し) ¥105.0/USD ¥124.0/EUR ¥16.0/RMB	前年比	
			増減	増減率
連結売上高	21,895	24,690	+2,794	+12.8%
セグメント利益	1,723	2,250	+526	+30.6%
その他の営業収益(▲費用)	▲ 50	0	+50	-
営業利益	1,673	2,250	+576	+34.5%
売上高営業利益率	7.6%	9.1%	+1.5 ¹ 1 ¹ 1 ¹	-
その他の収益(▲費用)	▲ 45	▲ 80	▲ 34	-
税引前純利益	1,627	2,170	+542	+33.3%
当社株主に帰属する当期純利益	1,062	1,460	+397	+37.4%
ROE	5.8%	7.6%	+1.8 ¹ 1 ¹ 1 ¹	
1株当たり配当金（円）※	55円	62円	+7円	
連結配当性向	48.9%	40.1%		

※ 2020年度の1株当たり配当金には、当社創立100周年の記念配当10円を含む。

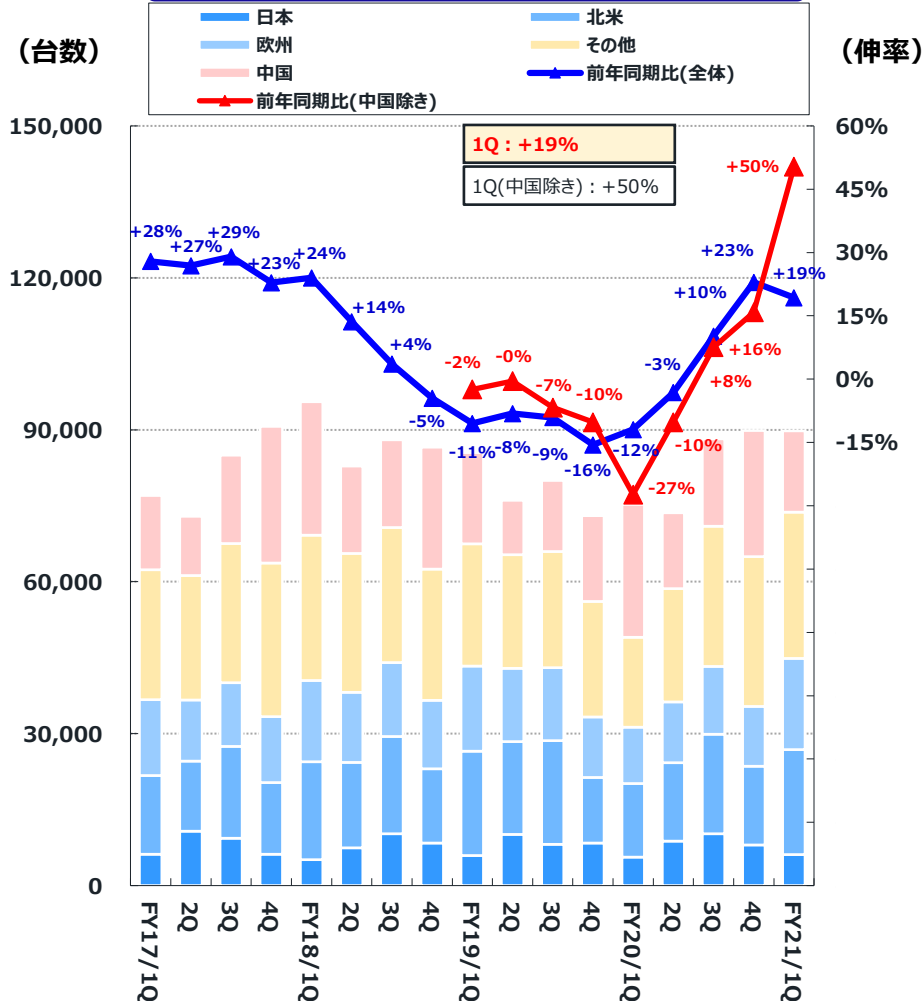
＜建設機械・車両＞ 主要7建機の需要推移と見通し

- ・2021年度第1四半期の需要は、前年同期比+19%増加。中国を除く地域では前年同期比+50%の増加。
- ・2021年度の需要は、前年比±0%～+5%の見通し、中国を除く地域では前年比+10%～+15%へ見直し。

主要7建機 年度別需要推移



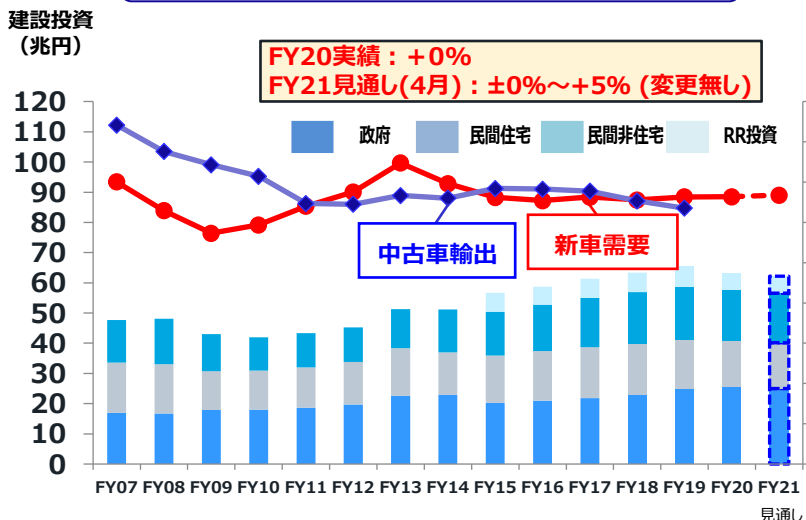
主要7建機 四半期別需要推移



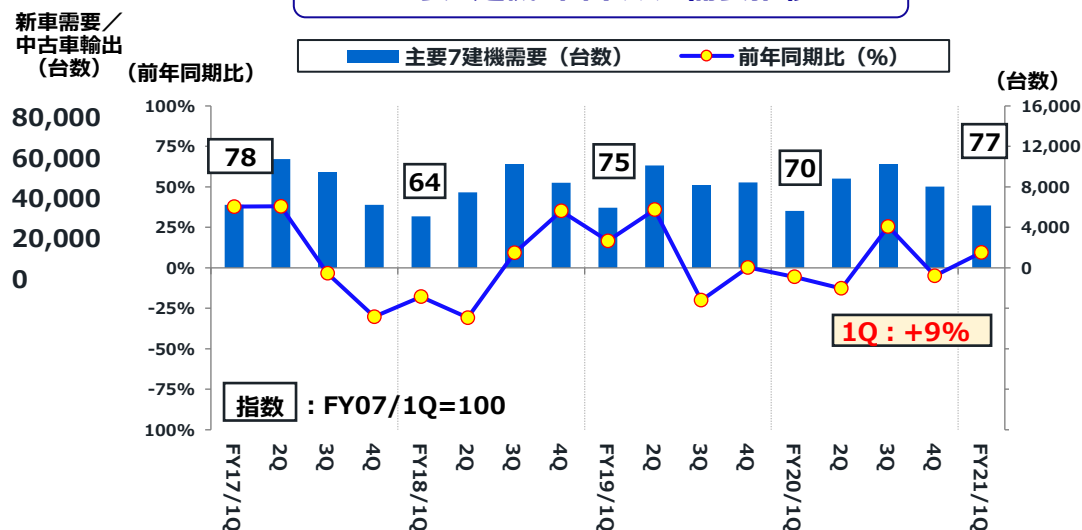
<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：①日本

- ・2021年度第1四半期の需要は、前年同期比+9%増加。
- ・2021年度の需要は、前年比±0%～+5%の見通し（4月見通しから変更無し）。
- ・公共工事が堅調なことに加え民間工事も上向きつつあり、需要は堅調に推移。

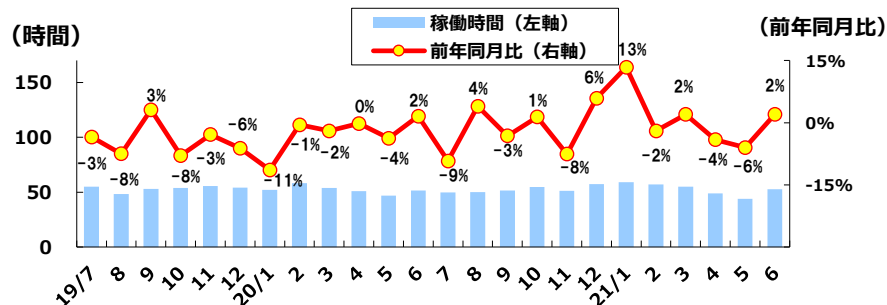
新車需要（主要7建機）と建設投資



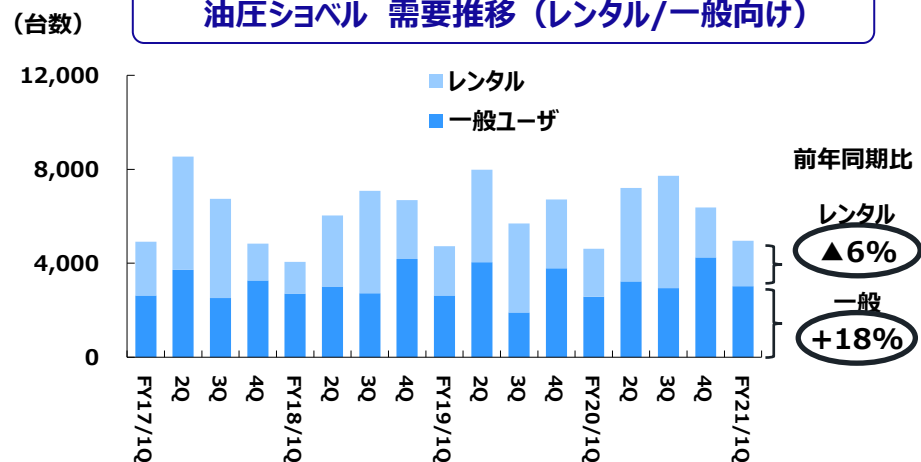
主要7建機 四半期別需要推移



Komtrax (日本) 月平均稼働時間推移



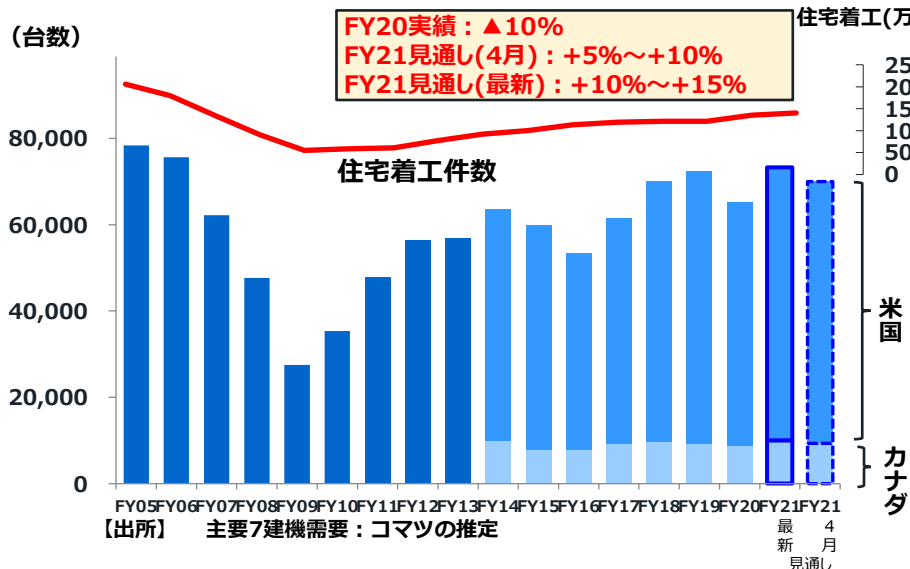
油圧ショベル 需要推移 (レンタル/一般向け)



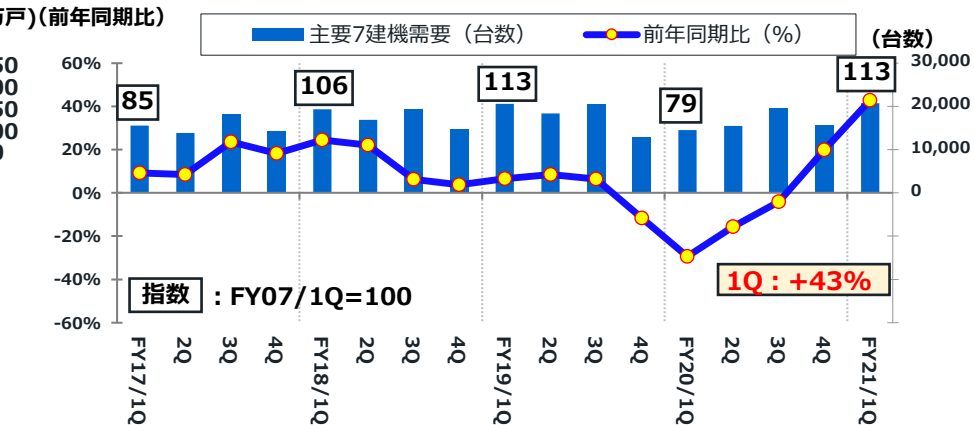
<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：②北米

- ・2021年度第1四半期の需要は、前年同期比+43%増加。
- ・2021年度の需要は、前年比+10%～+15%へ見直し。
- ・住宅・非住宅、道路交通向けが堅調に推移、レンタル向けも回復傾向。

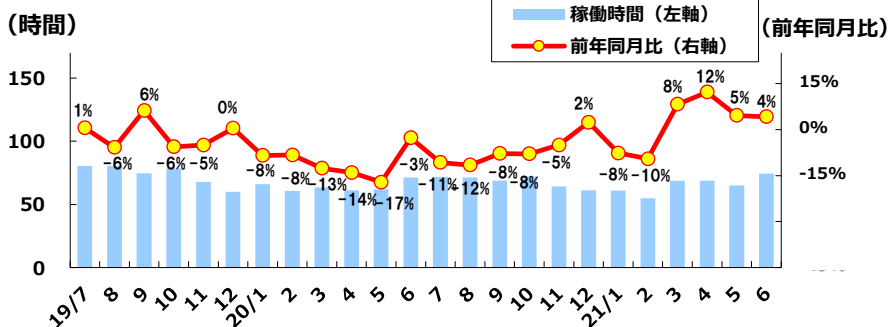
主要7建機 需要推移と住宅着工件数



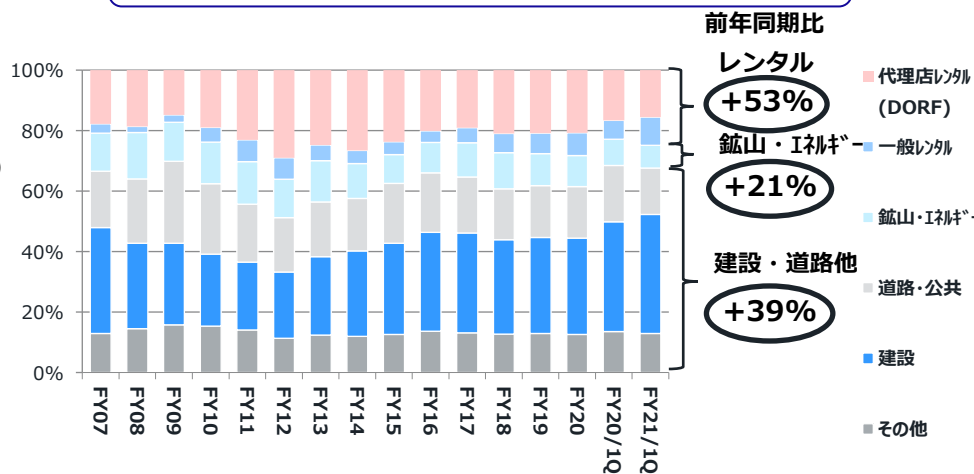
主要7建機 四半期需要推移



Komtrax (北米) 月平均稼働時間推移



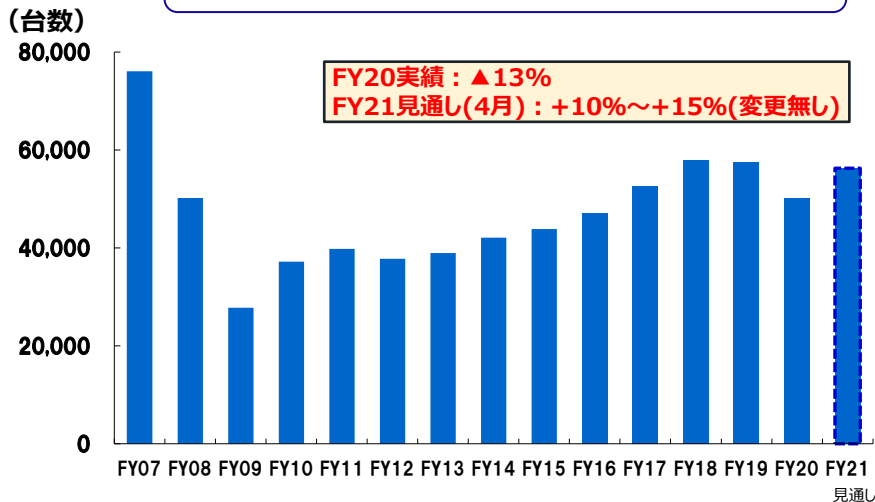
セグメント別需要構成比 (台数ベース)



＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し： ③ 欧州

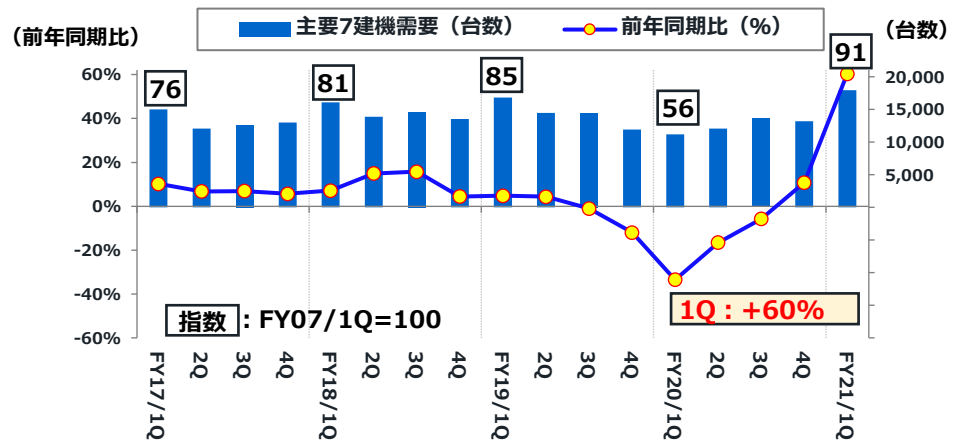
- ・2021年度第1四半期の需要は、前年同期比+60%増加。
- ・2021年度の需要は、前年比+10%～+15%の見通し（4月見通しから変更無し）。
- ・英独仏など主要国を中心に需要が回復。

主要7建機 年度別需要推移

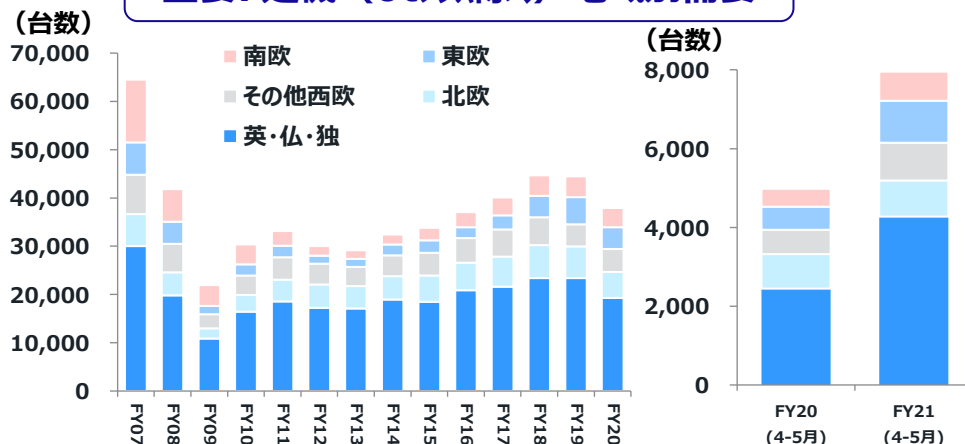


【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

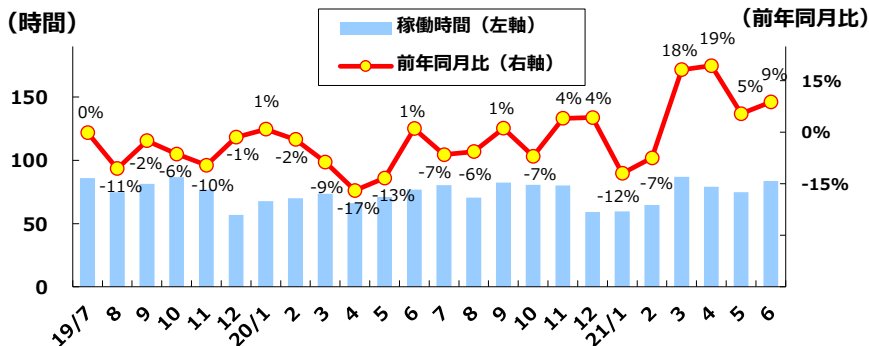
主要7建機 四半期需要推移



主要7建機（6tクラス除く）地域別需要



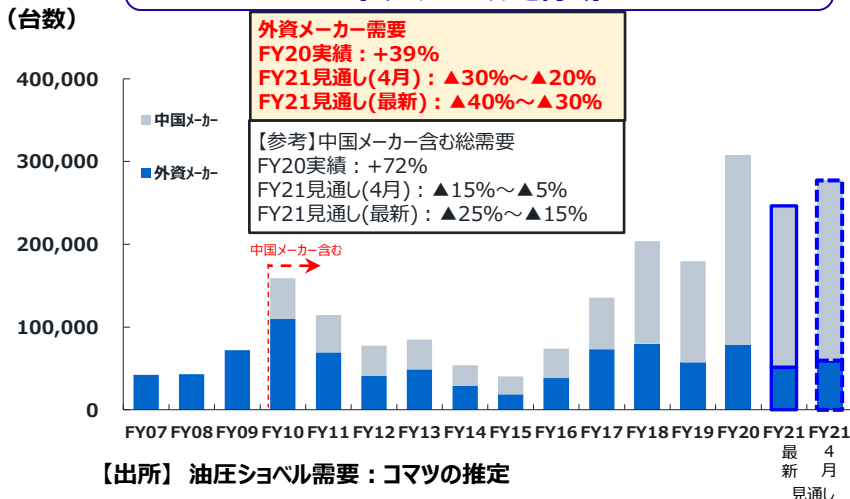
Komtrax（欧州） 月平均稼働時間推移



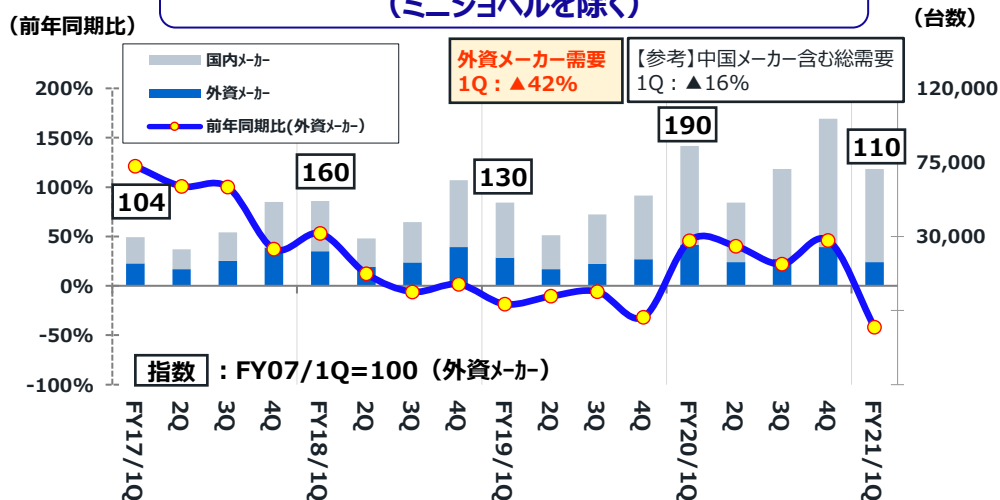
＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し：④ 中国

- ・2021年度第1四半期の需要は、前年同期比▲42%減少。
- ・2021年度の需要は、前年比▲40%～▲30%へ見直し。
- ・春節明けのセールスシーズンずれ込みの影響が無くなること、インフラ投資の鈍化等により前年比マイナス。

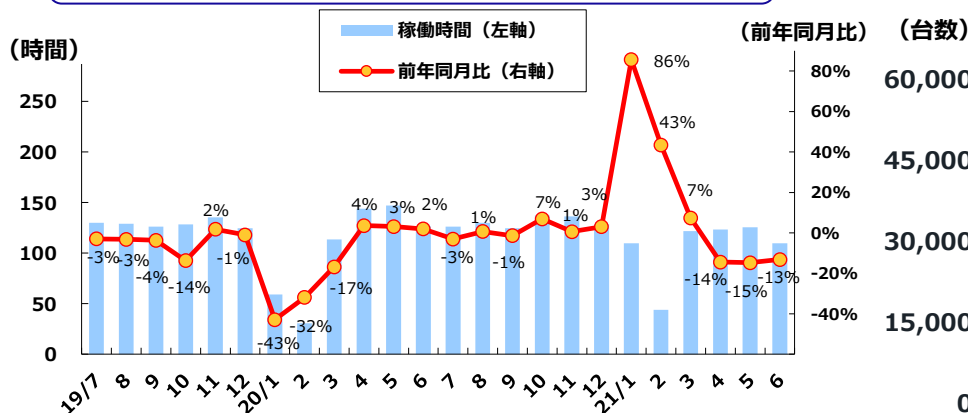
油圧ショベル 年度別需要推移 (ミニショベルを除く)



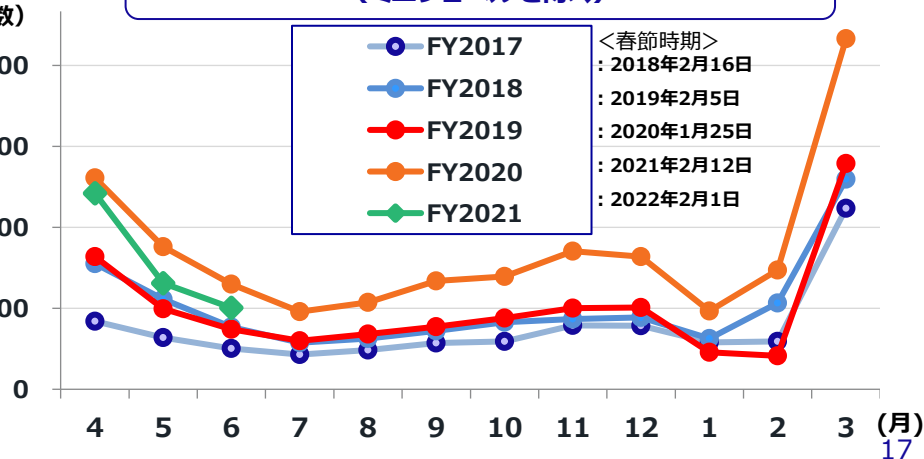
油圧ショベル 四半期需要推移 (ミニショベルを除く)



Komtrax (中国) 月平均稼働時間推移



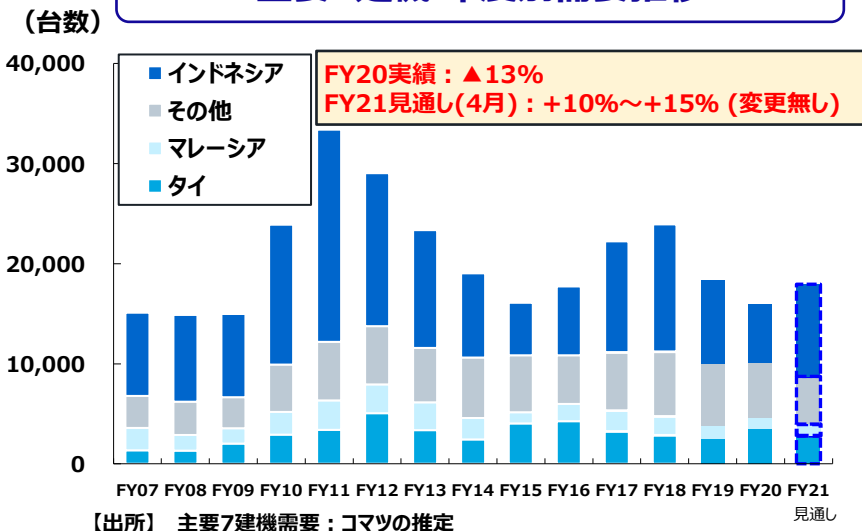
中国：油圧ショベルの月別需要推移 (ミニショベルを除く)



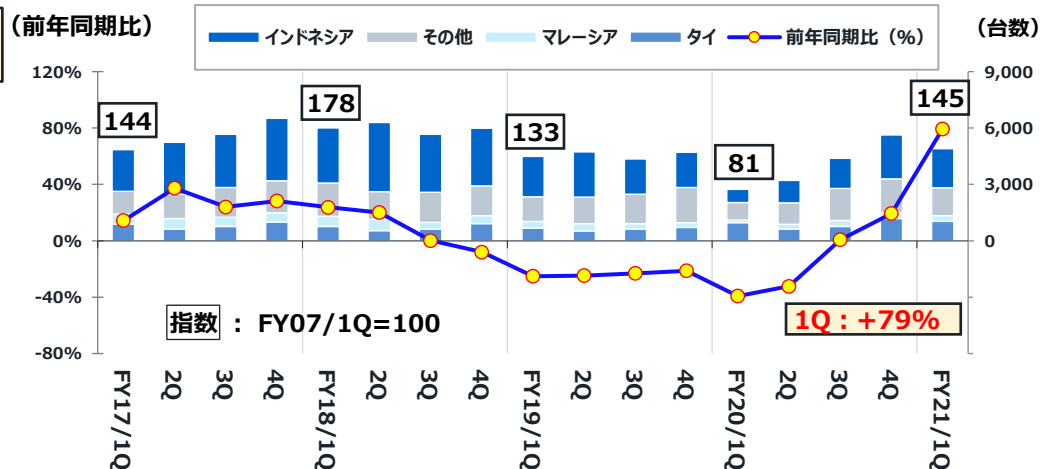
<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：⑤ 東南アジア

- ・2021年度第1四半期の需要は、前年同期比+79%増加。
- ・2021年度の需要は、前年比+10%~+15%の見通し（4月見通しから変更無し）。
- ・最大市場のインドネシアをはじめ、大半の地域で需要が回復。

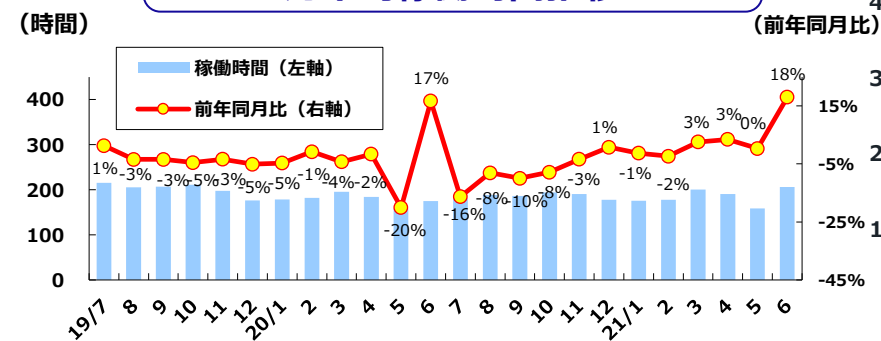
主要7建機 年度別需要推移



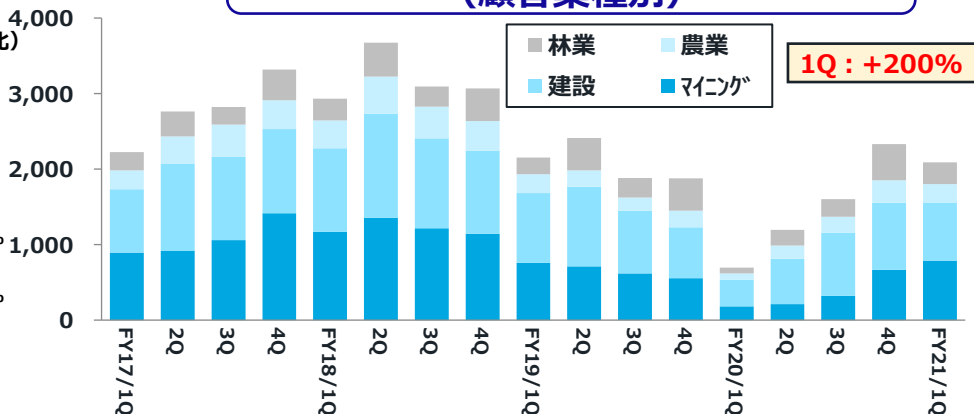
主要7建機 四半期需要推移



Komtrax (インドネシア) 月平均稼働時間推移



インドネシア：建設・鉱山機械需要推移 (顧客業種別)



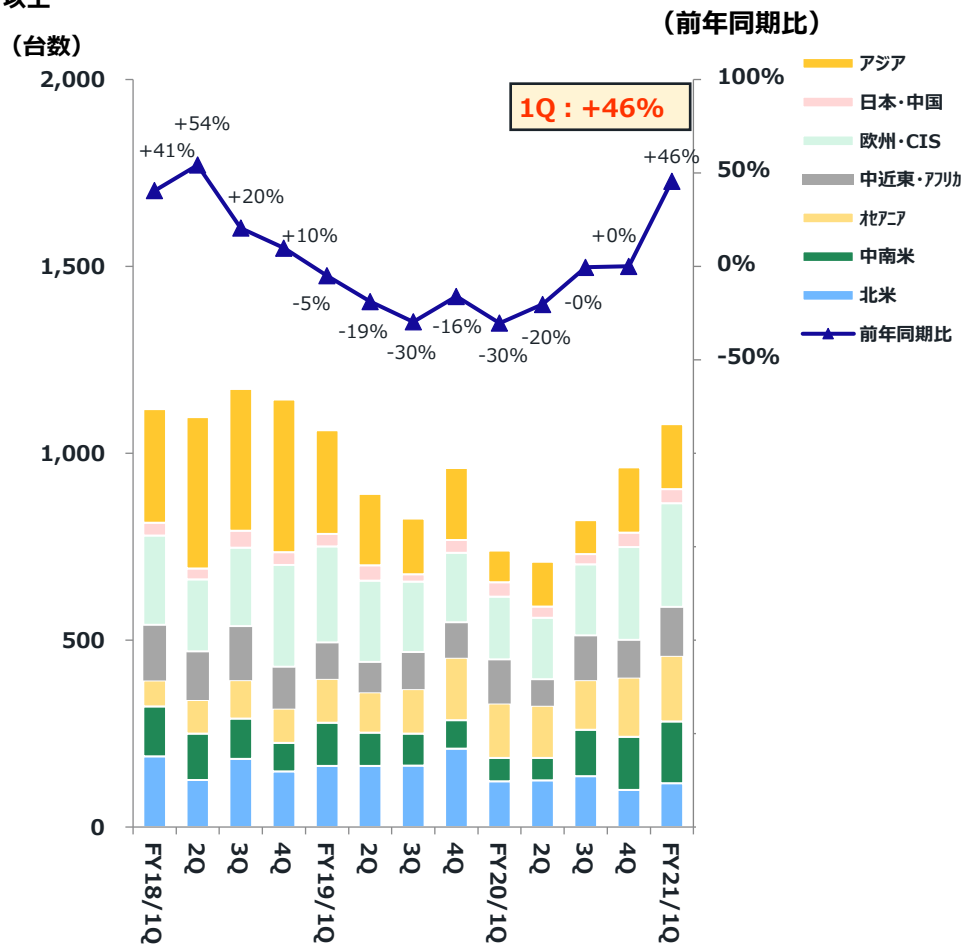
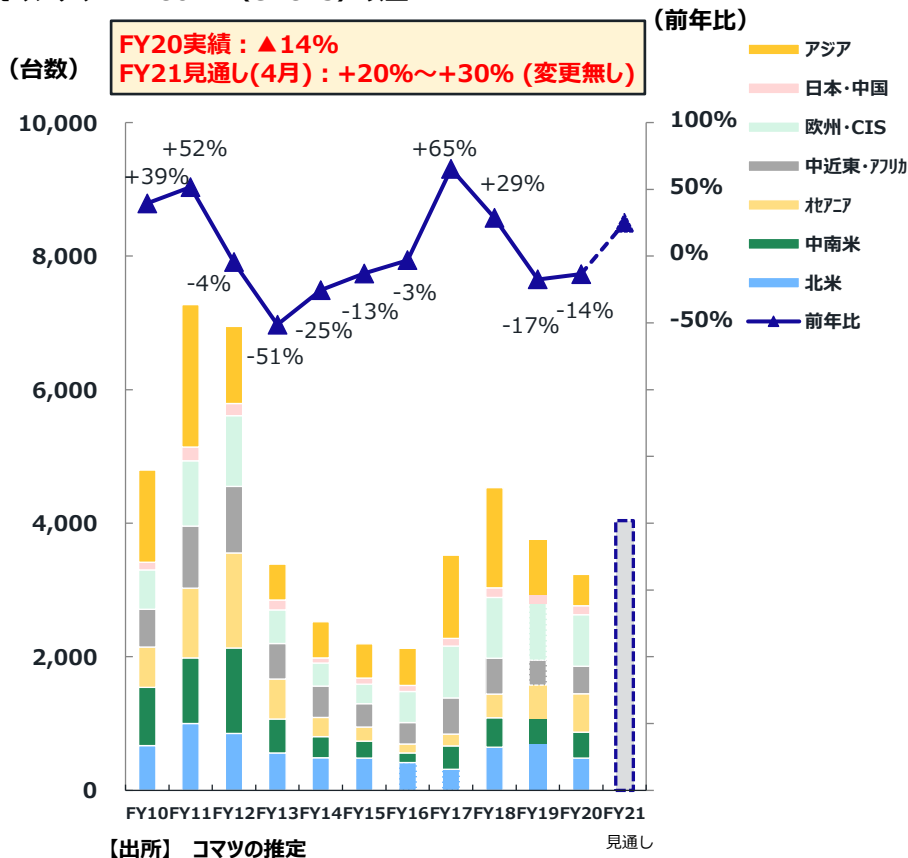
＜建設機械・車両＞ 鉱山機械の需要推移と見通し

- ・2021年度第1四半期の需要は、前年同期比+46%増加。
- ・2021年度の需要は、主にオセアニア、中南米、CIS、アジアで増加し、前年比+20%～+30%の見通し（4月見通しから変更無し）。

鉱山機械 年度別需要推移

鉱山機械 四半期別需要推移

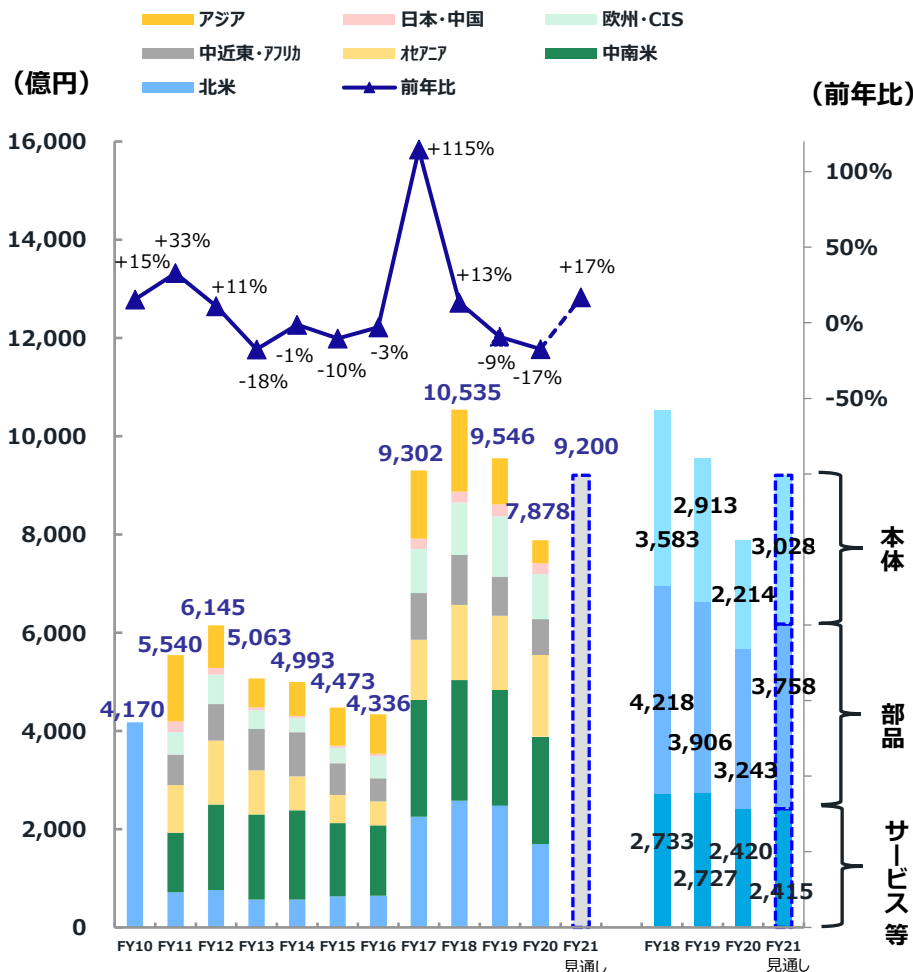
- ・ダンプトラック：75 t（HD785）以上
- ・フルパワー：525HP（D375）以上
- ・エクスカベータ：200 t（PC2000）以上
- ・ホイローダー（機械駆動）：810HP（WA800）以上
- ・モーターグレーダー：280HP（GD825）以上



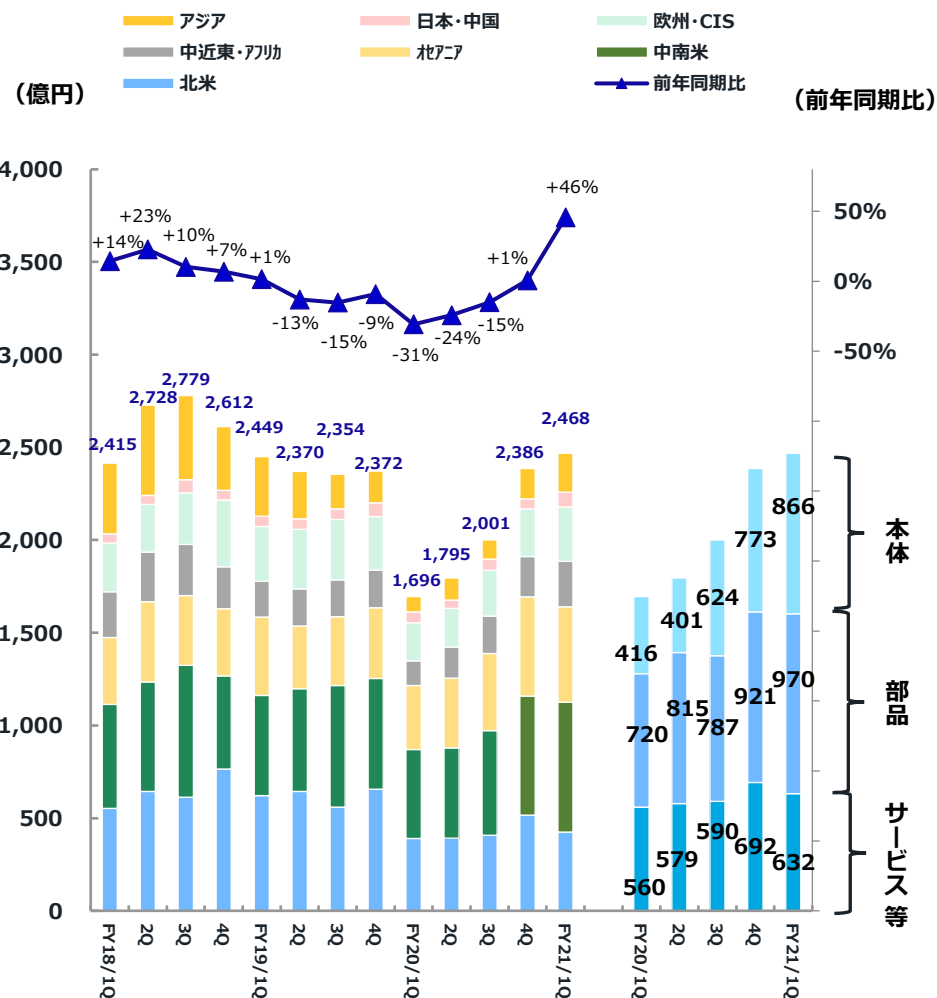
<建設機械・車両> 鉱山機械の売上高の見通し

- ・2021年度第1四半期の売上高は、前年同期比+46%増収の2,468億円。
- ・主にオセアニア、中南米、CIS、アジアで増加。

鉱山機械 年度別売上高 (部品・サービス等含む)



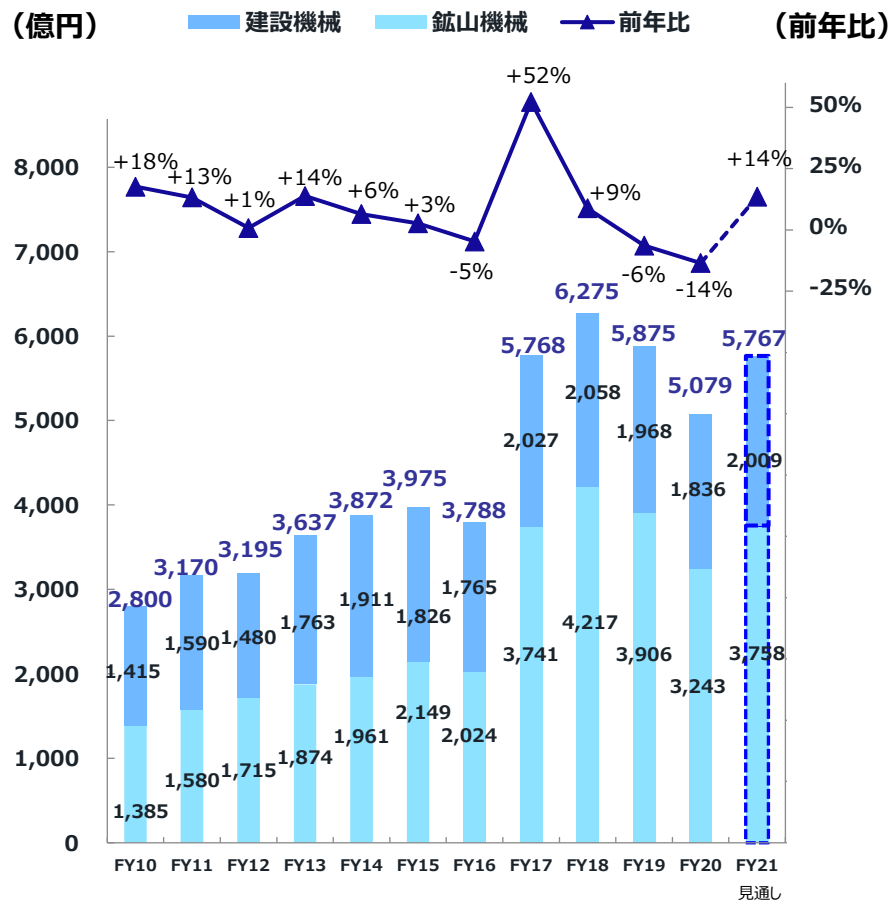
鉱山機械 四半期別売上高 (部品・サービス等含む)



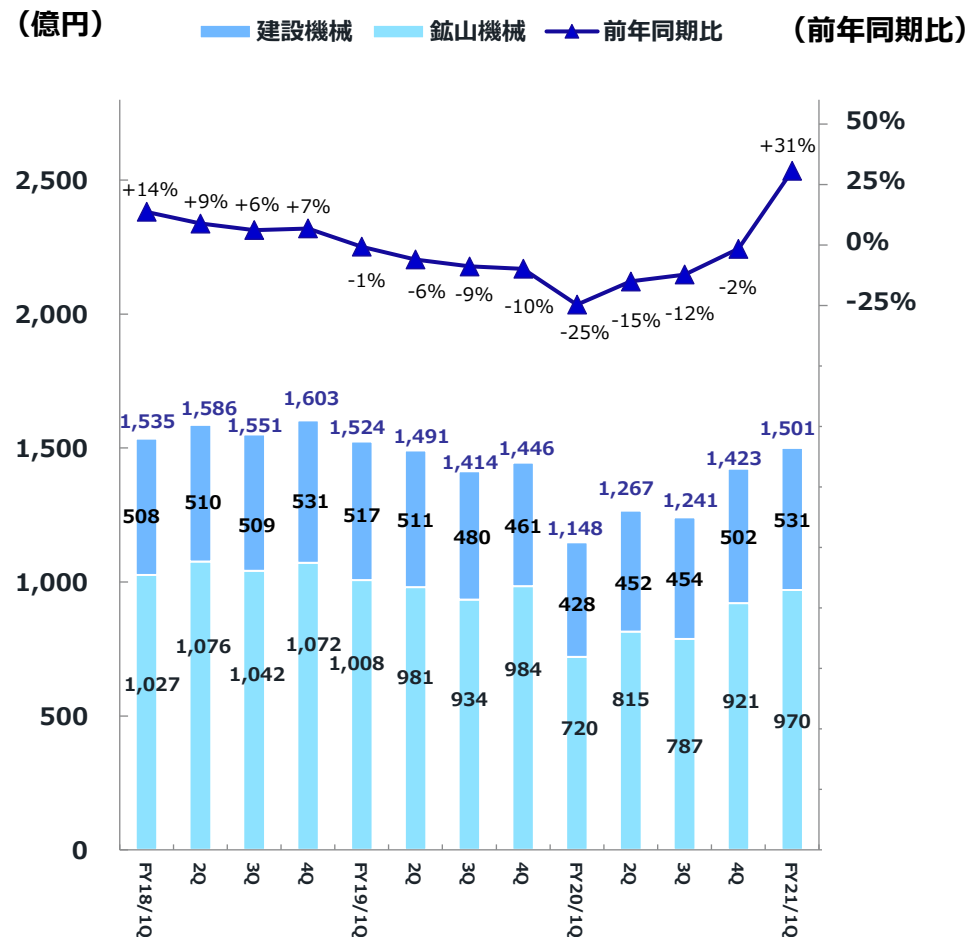
＜建設機械・車両＞ 部品の売上高の見通し

- ・2021年度第1四半期の部品売上高は、前年同期比+31%増収の1,501億円。
- ・建設機械、鉱山機械いずれも増加。

部品 年度別売上高



部品 四半期別売上高

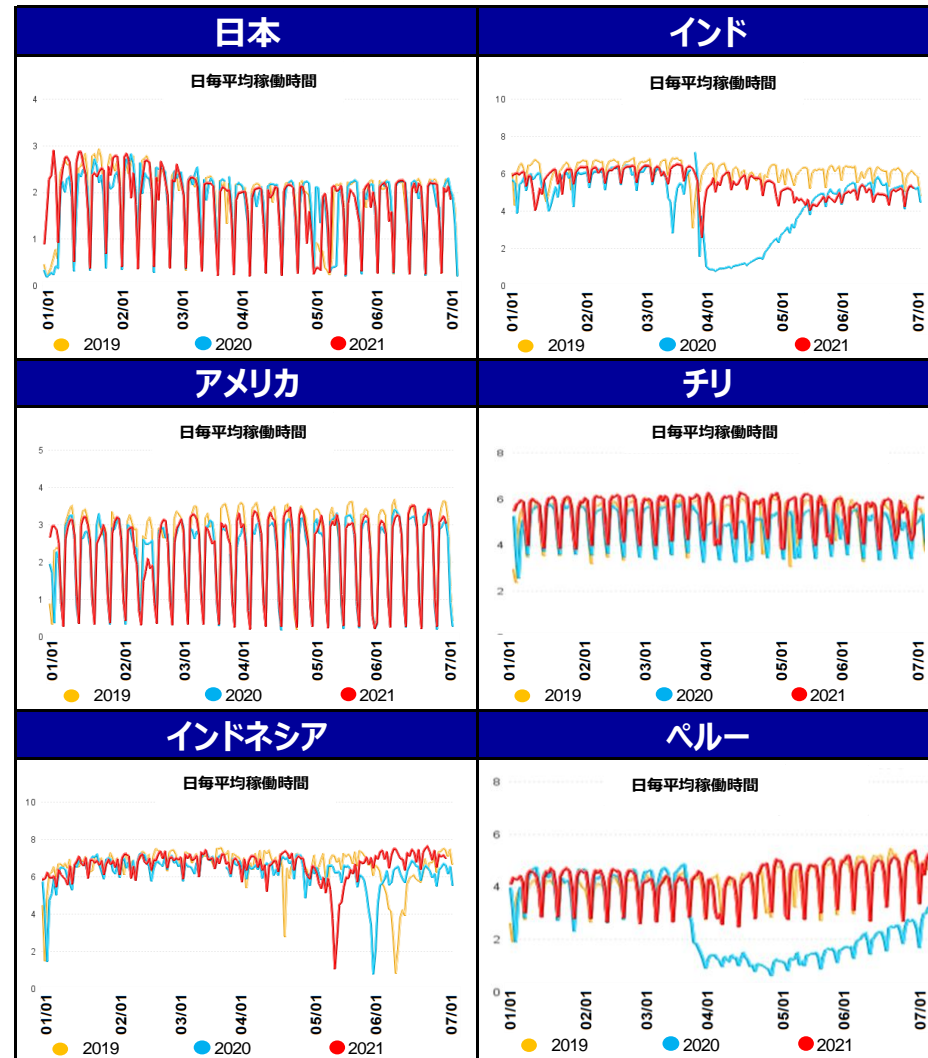
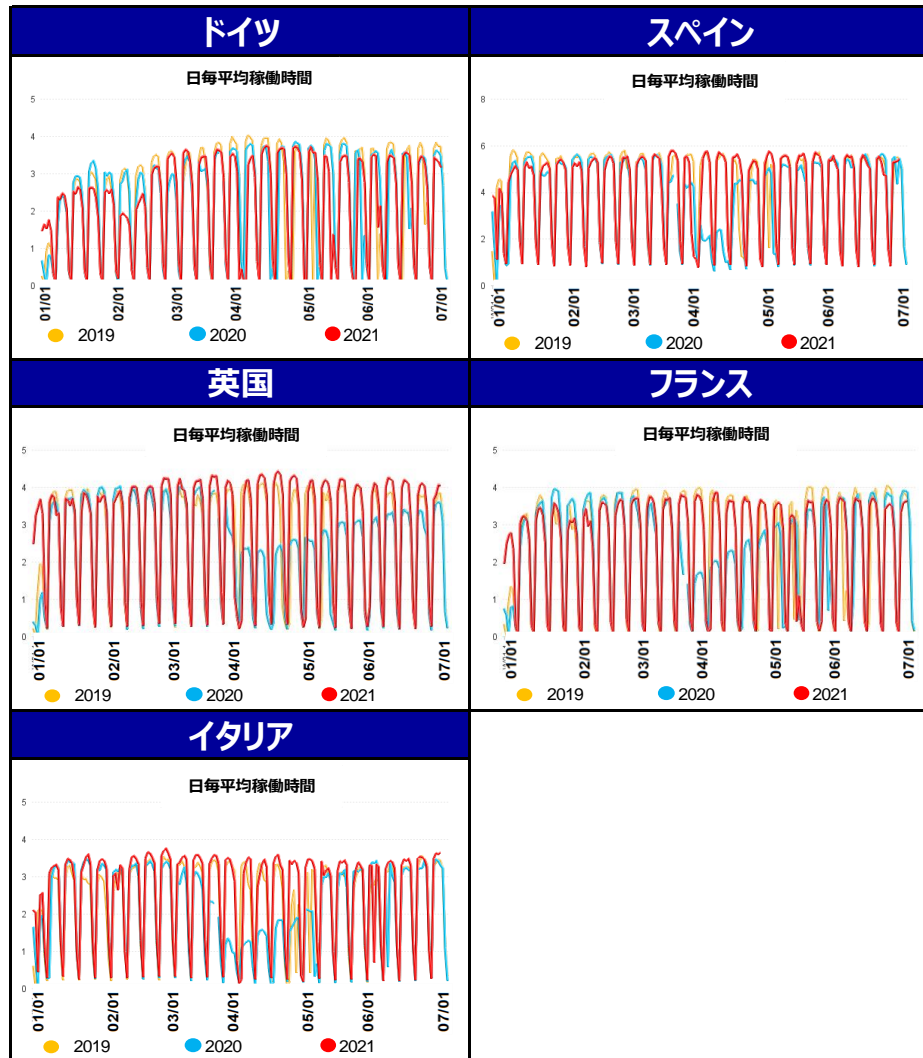


参考資料

【参考資料】Komtrax日次平均稼働時間推移

欧州主要国

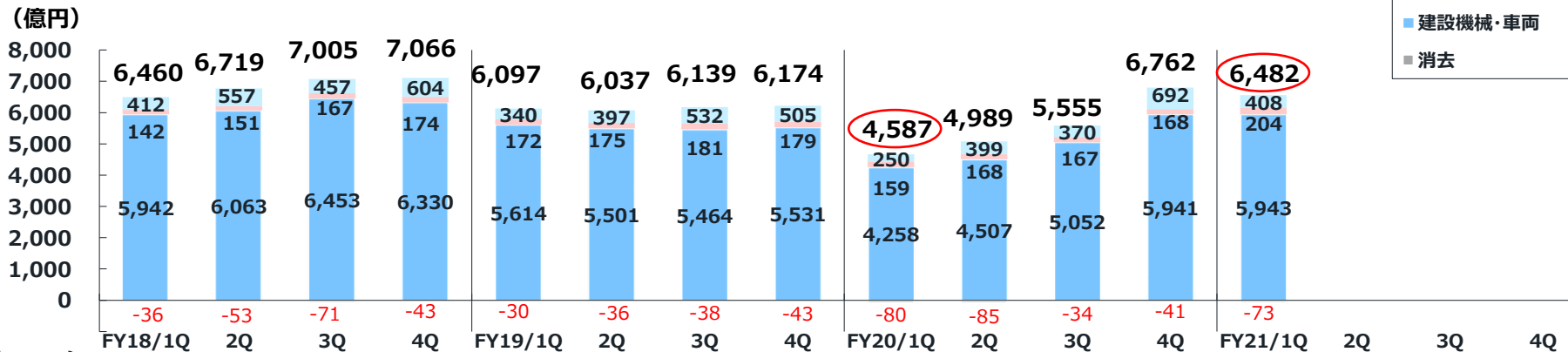
その他主要地域



日次平均稼働時間:Komtraxを搭載した当社製建設機械の一台当たり一日平均稼働時間

【参考資料】四半期毎の売上高と営業利益の推移

連結売上高 (FY18~)

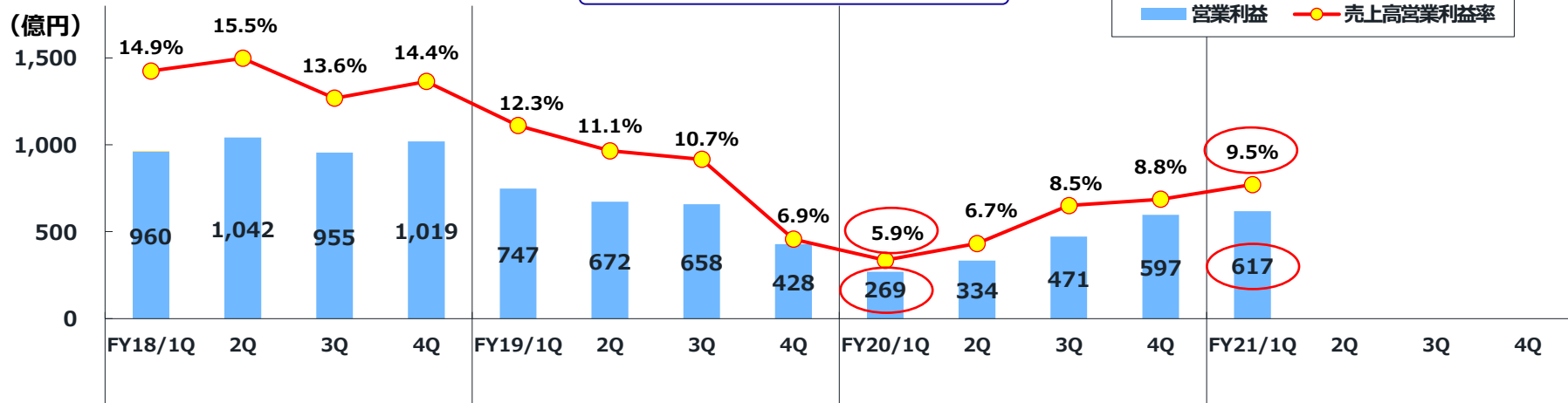


- 産業機械他
- リテールファイナンス
- 建設機械・車両
- 消去

為替
レート

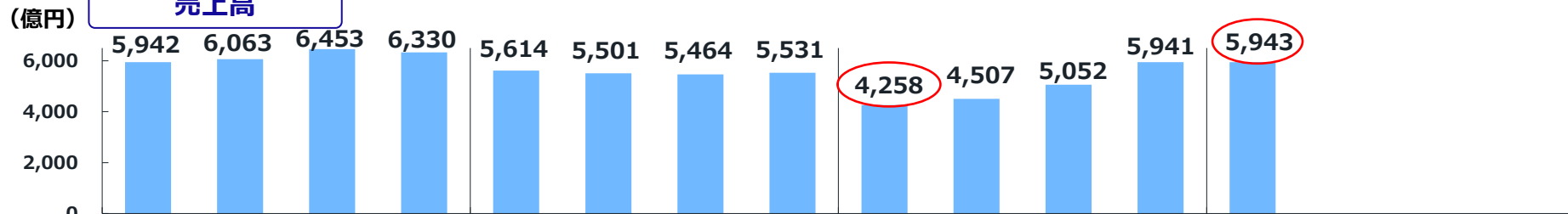
	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q
¥/USD	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9			
¥/EUR	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7			
¥/RMB	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5	15.4	15.5	15.1	15.3	15.7	16.2	17.0			

営業利益 (FY18~)



【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

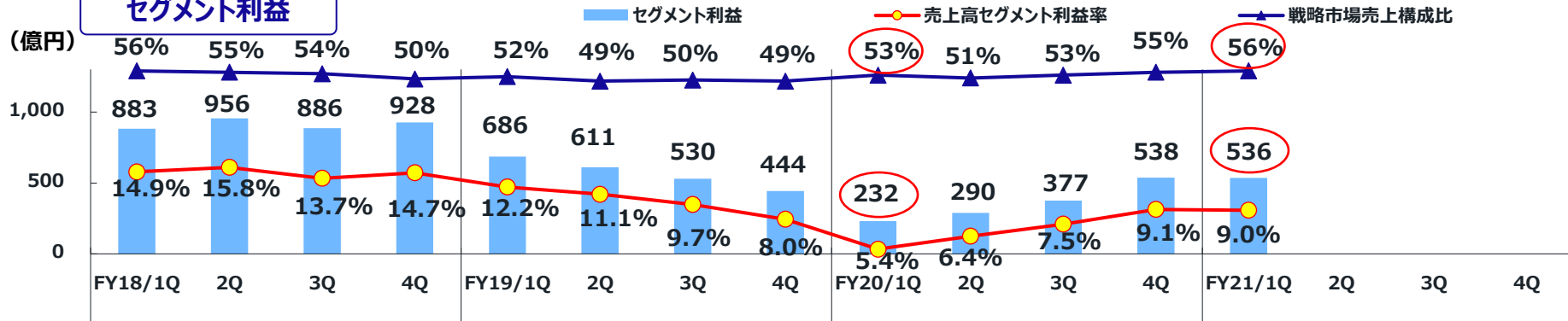
売上高



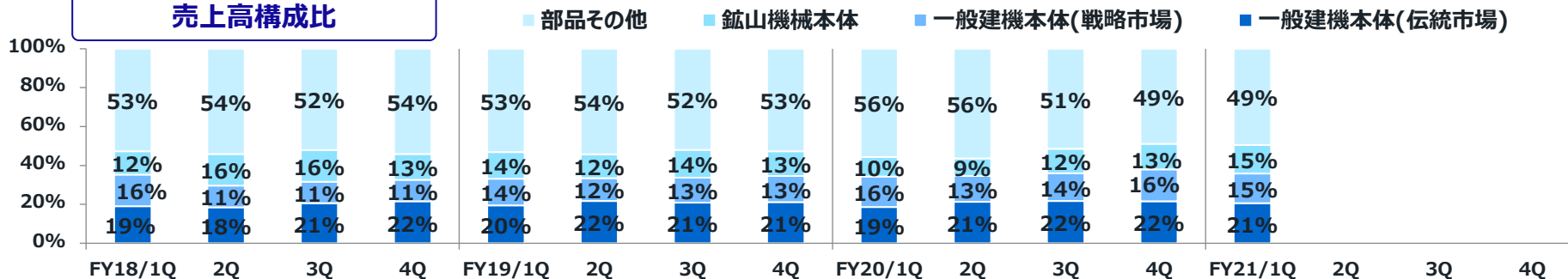
為替
レート

	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q
¥/USD	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9			
¥/EUR	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7			
¥/RMB	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5	15.4	15.5	15.1	15.3	15.7	16.2	17.0			

セグメント利益

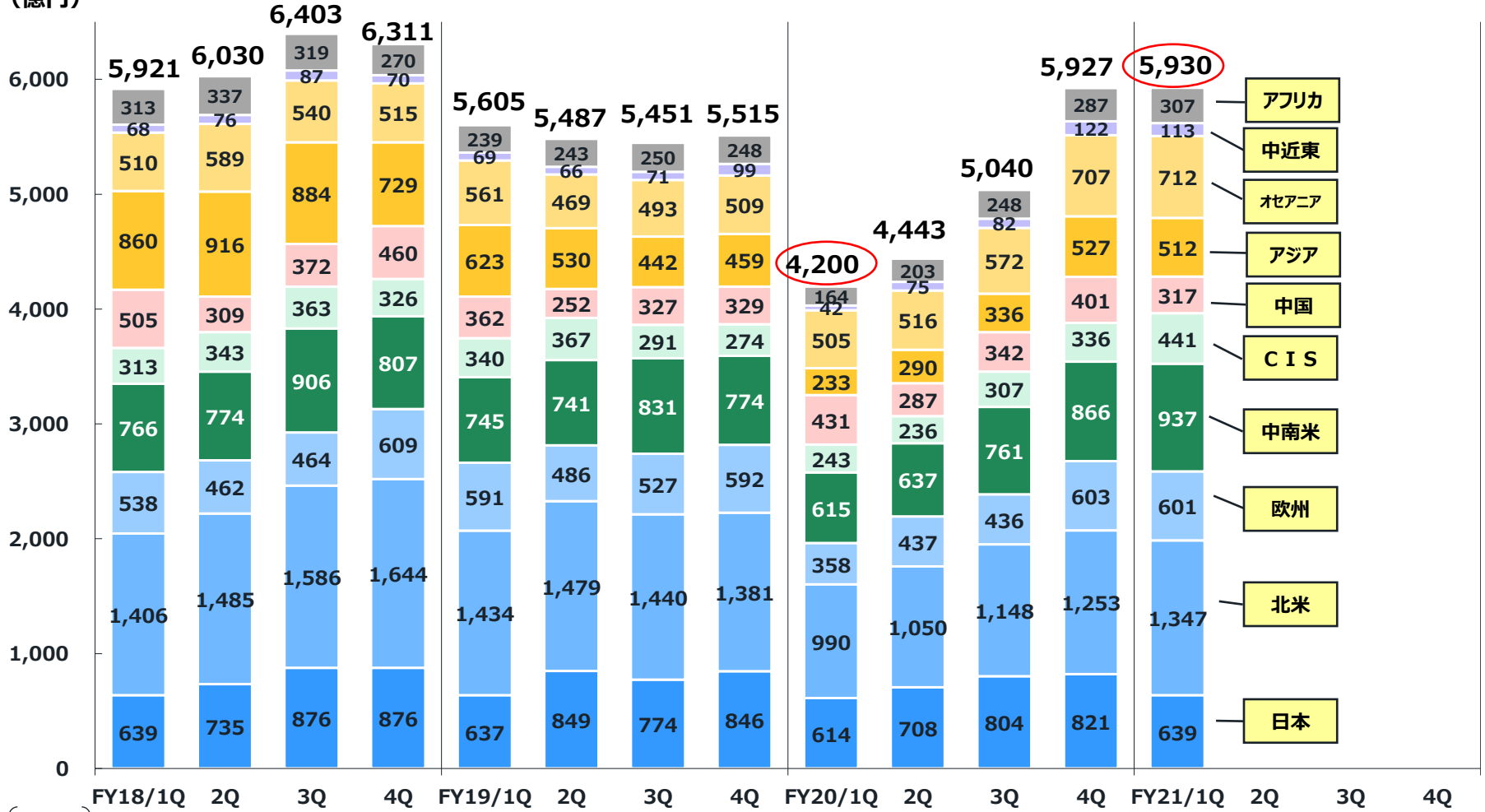


売上高構成比



【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の地域別売上高（外部顧客向け）

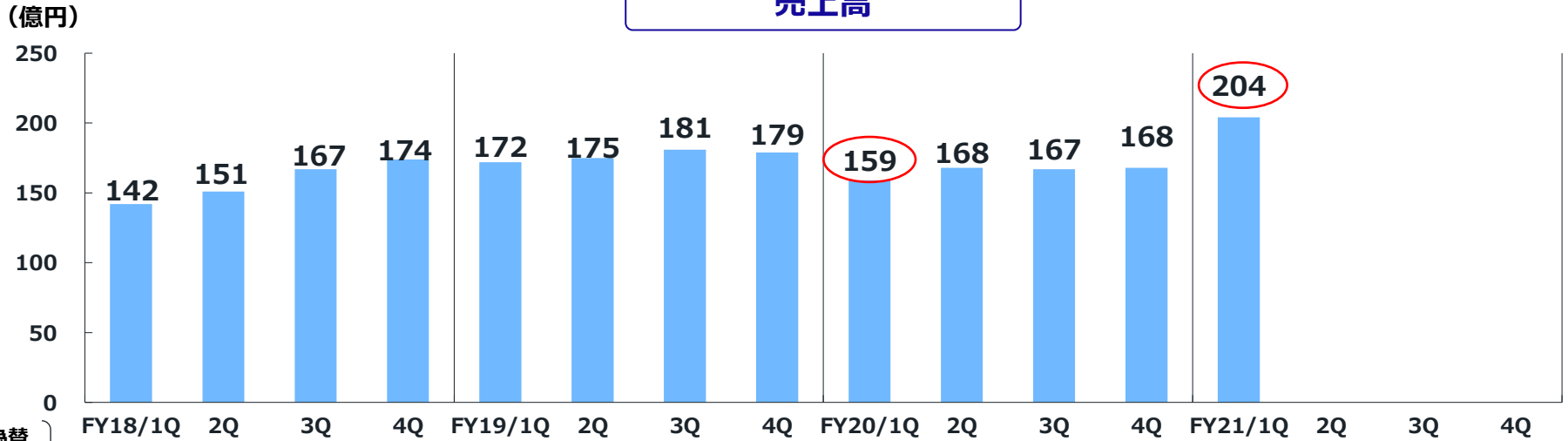
(億円)



為替レート	18				19				20				21			
	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q
¥/USD	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9			
¥/EUR	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7			
¥/RMB	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5	15.4	15.5	15.1	15.3	15.7	16.2	17.0			

【参考資料】<リテールファイナンス> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

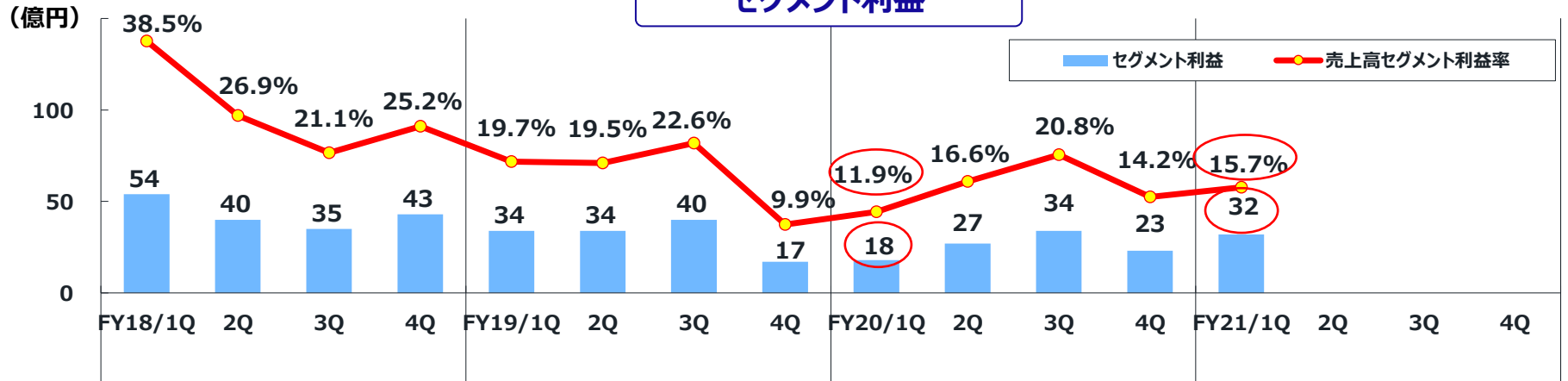
売上高



為替
レート

	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q
¥/USD	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9			
¥/EUR	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7			
¥/RMB	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5	15.4	15.5	15.1	15.3	15.7	16.2	17.0			

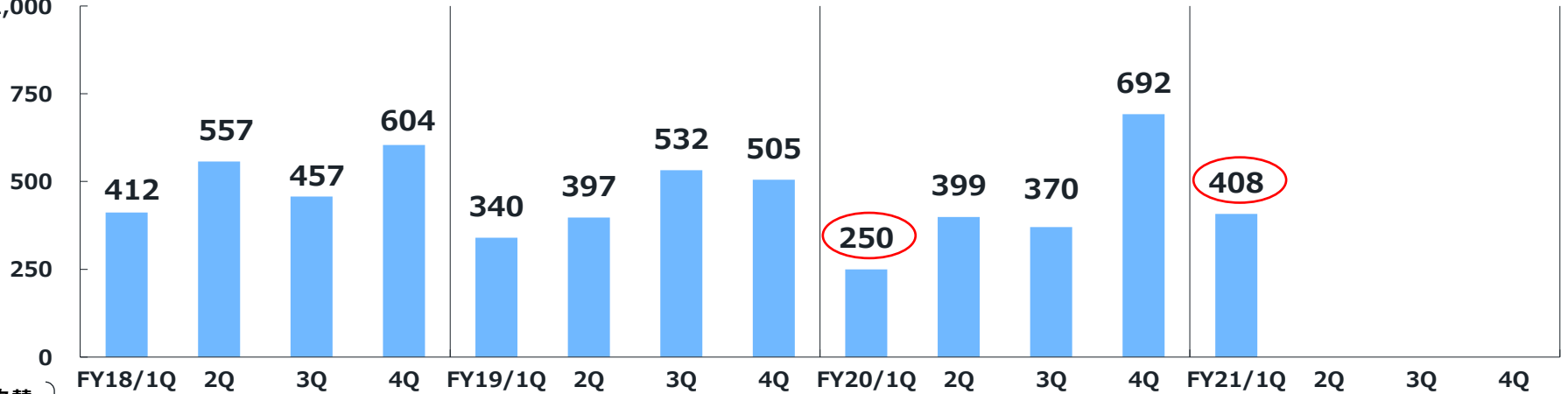
セグメント利益



【参考資料】＜産業機械他＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

(億円)
1,000

売上高

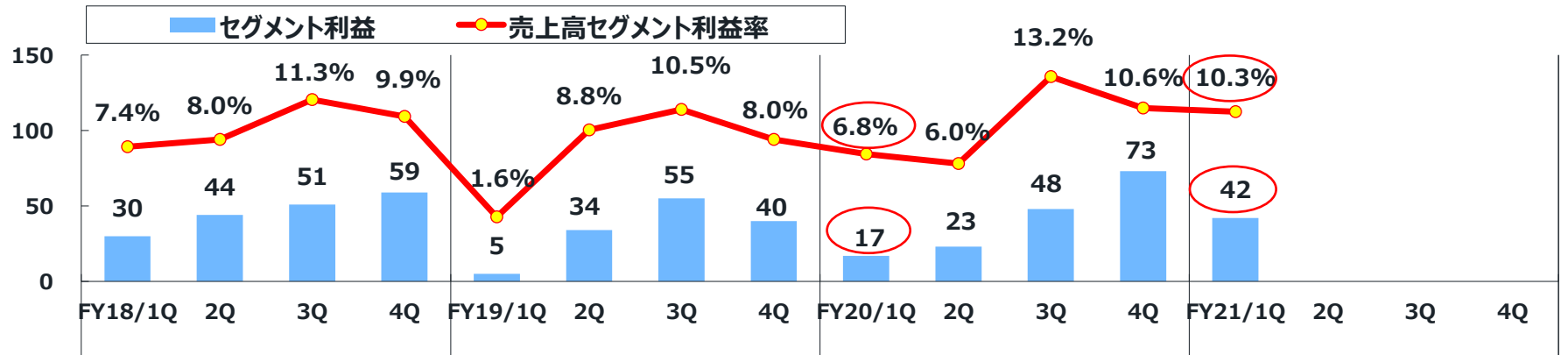


為替
レート

	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q
¥/USD	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9			
¥/EUR	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7			
¥/RMB	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5	15.4	15.5	15.1	15.3	15.7	16.2	17.0			

(億円)

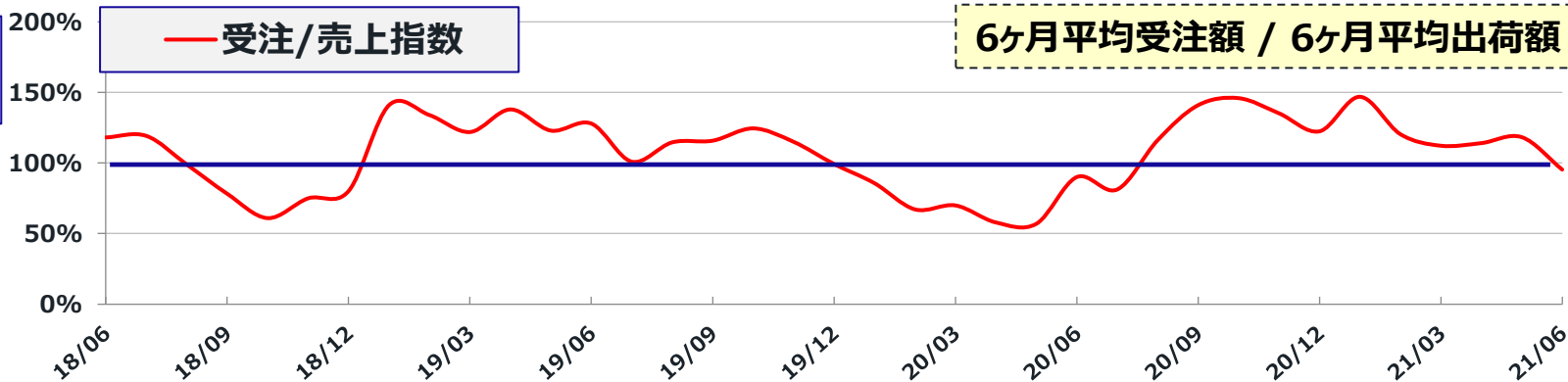
セグメント利益



【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕 鉱山機械（本体）

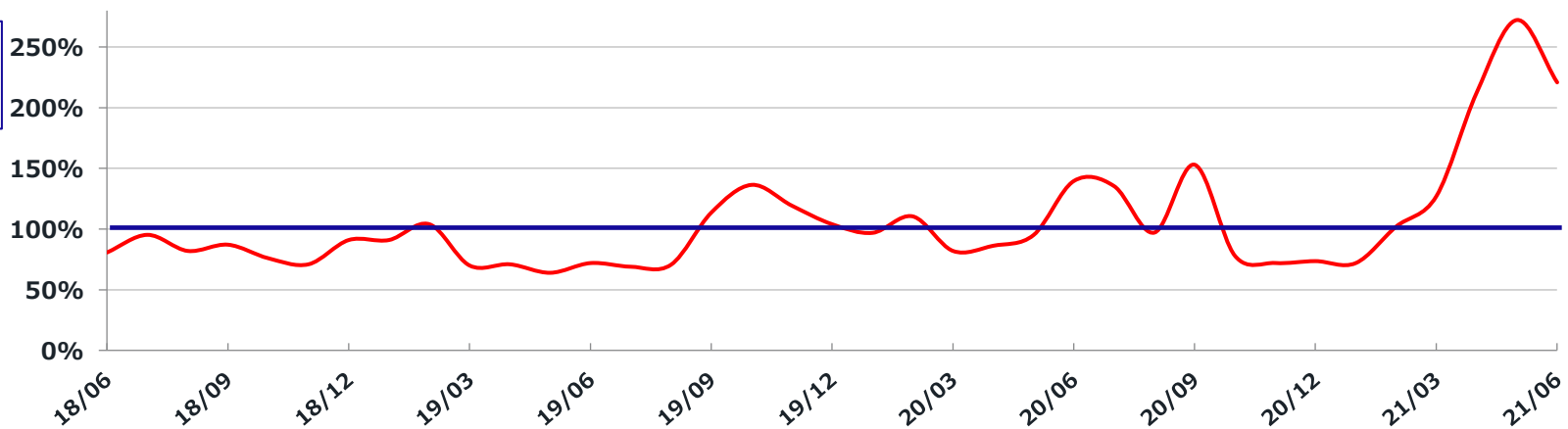
コマツアメリカ (マイニング)

730E, 830E
860E
930E, 960E
980E



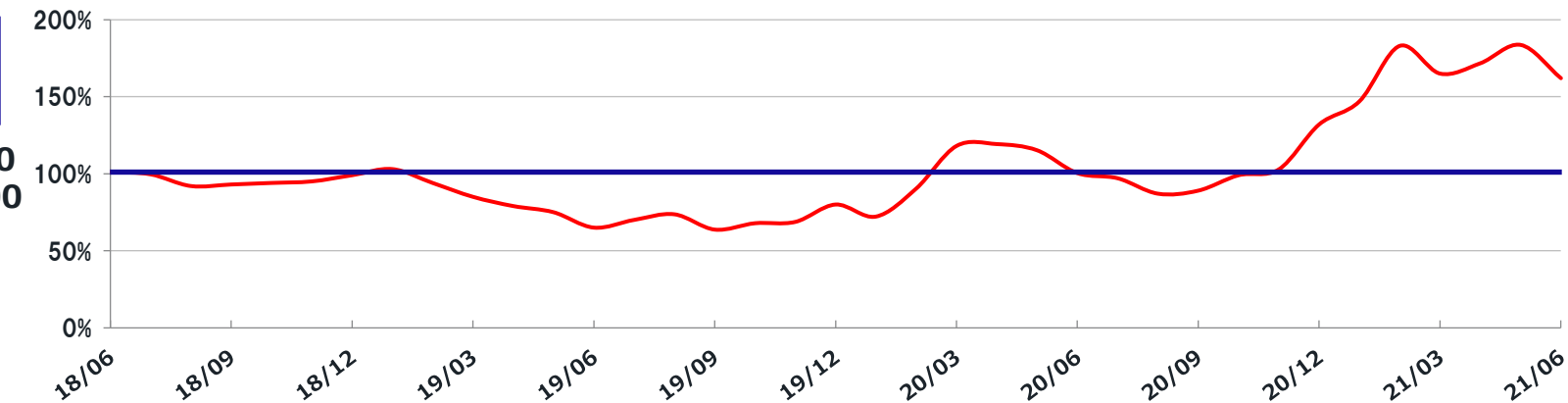
コマツドイツ (マイニング)

PC3000
PC4000
PC5500
PC7000
PC8000



コマツ単独 (マイニング)

HD785, HD1500
PC2000, PC3000
PC4000
WA800 up
D375A up
GD825A up



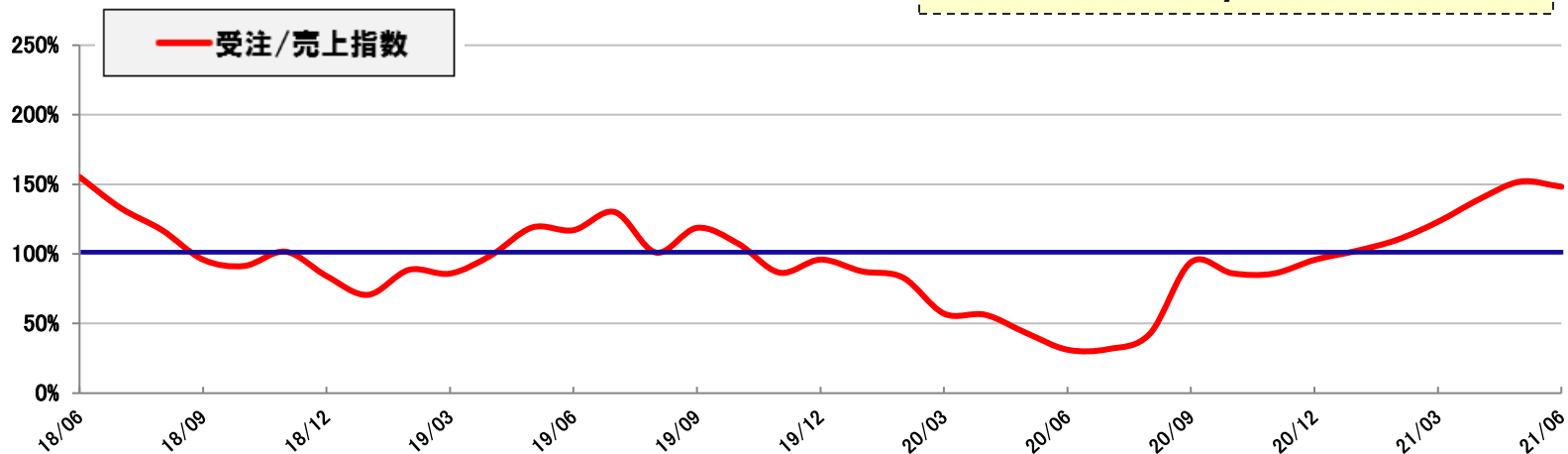
【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕KMC製の鉱山機械（本体）

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額

KMC (マイニング)

<露天掘り>
ロープショベル
ブラストホールドリル
ドラグライン他

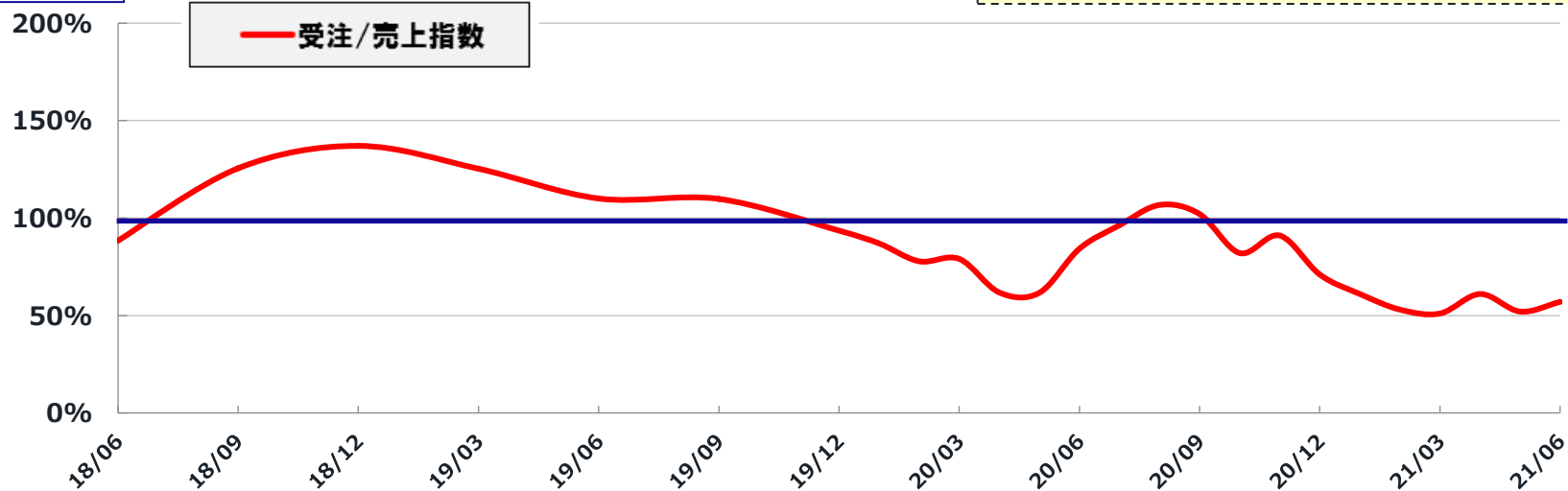
<坑内掘り>
コンティニューアスマイナ
シアラー
ロードホールダンプ
ドリルジャンボ他



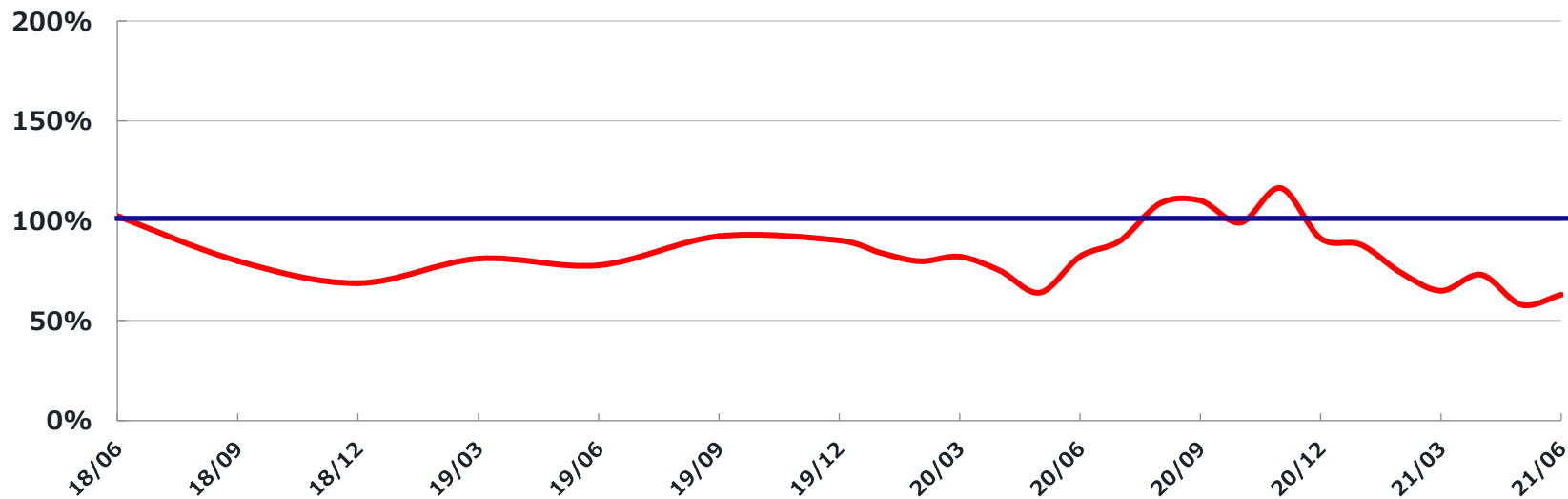
【参考資料】BBレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕産業機械

コマツ産機

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額



コマツNTC



電動化戦略

次世代コンセプトマシンとして、リチウムイオンバッテリー搭載のフル電動・オペレーター非搭載式ミニショベルを発表しました。

(2021年5月13日
ニュースリリース)



Honda Mobile Power Pack

有線式電動油圧ショベル「PC78USE-11」の国内市場への導入を開始しました。

(2021年7月20日
ニュースリリース)

コマツとHondaは、交換式バッテリー「モバイルパワーパック」を活用したマイクロショベル「PC01」の電動化に向けて、共同開発を開始します。

(2021年6月10日
ニュースリリース)



環境にやさしい排出ガスゼロで長時間連続稼働が可能なPC78USE-11



フル電動で、遠隔操作可能なミニショベルのコンセプトマシン

KOMATSU

東南アジア地域において油圧ショベルCEシリーズ「PC200-10M0」を新発売

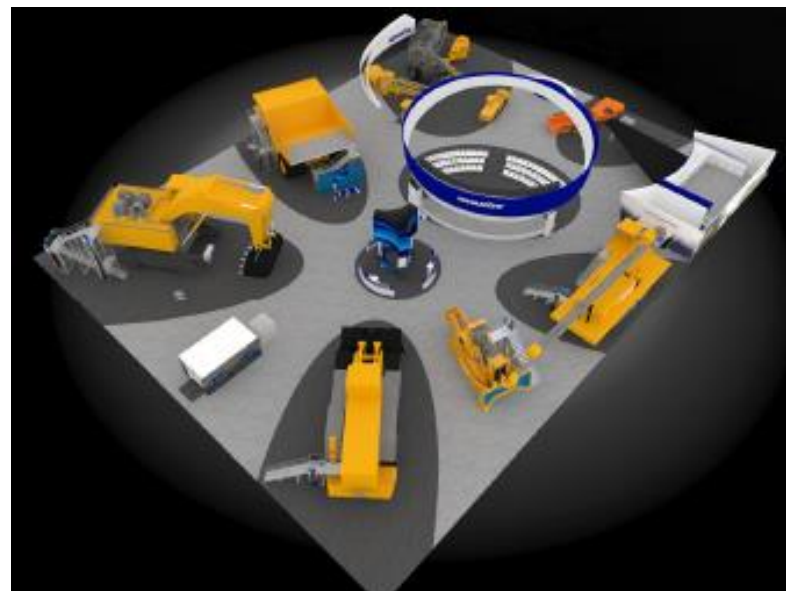
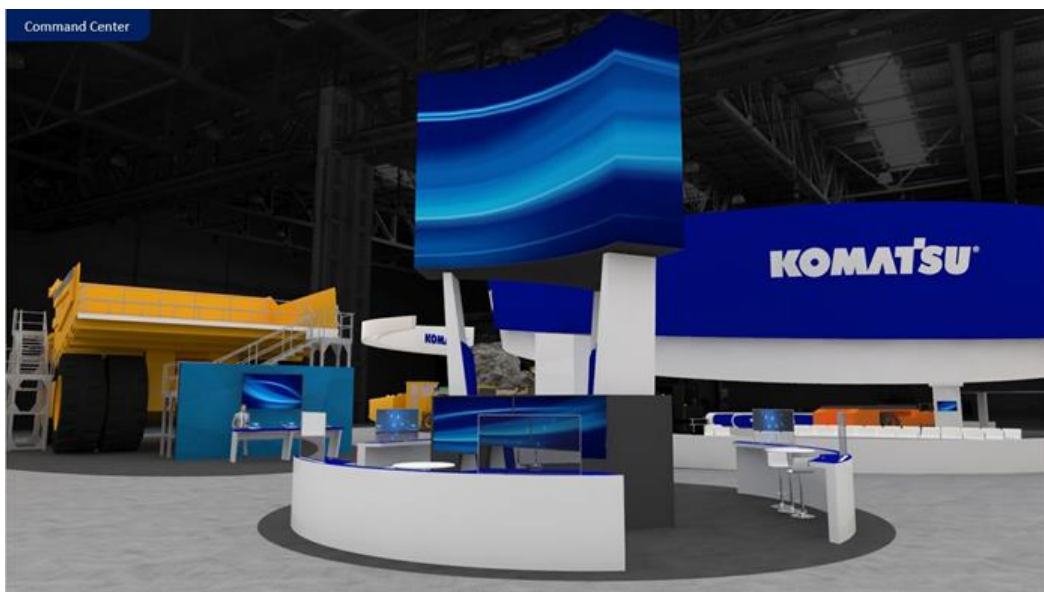
- ・インドネシアおよびタイを皮切りに導入を進め、標準シリーズ「PC210-10M0」とあわせ、2機種を東南アジアにおける2モデルライン戦略と位置づけ商品展開します。
- ・CEシリーズ「PC200-10M0」は、従来機の品質と耐久性を継承しつつも、エンジンを4気筒にするなど都市土木等の作業に特化して仕様を最適化することにより、低燃費化および本体価格を低く抑えることを実現いたしました。(2021年7月26日 ニュースリリース)



2021年9月13日から15日の3日間 ラスベガスにて、MINExpo 2021出展

・パワーアグノスティックをコンセプトとする鉱山向け超大型ダンプトラックや、超大型油圧ショベルの遠隔操作化と無人ダンプトラックとの協調作業など、鉱山機械の自動化・自律化、電動化、遠隔操作化を実現するコマツの新しいソリューションをご紹介します。

(2021年7月21日 ニュースリリース)



【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。